

市民会館・公民館の状況

IV 市民会館・公民館の状況

1 市民会館・公民館施設概要

会館は多様な文化活動に対応しつつ、教育機関としての機能もはたしていく施設として、昭和52年6月に開館した。また、施設の老朽化、市民の多様なニーズの変化等に対応し、市民の更なる利用を促進し、地域社会の活性化に寄与する施設とするため、平成18年1月16日市民会館等リニューアル工事を実施した。

福生市民会館・公民館 福生市福生2455 電話552-1711

敷地面積 5,717.93 m²

建築延面積 6,985.48 m²

鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階建

職員 11人（内嘱託員職員1人）

また、武蔵野台地区に昭和54年5月、熊川地区に昭和55年5月、社会教育活動の拠点として、地域の文化活動、また学習活動の場としての公民館分館が開館した。

(1) 松林分館 福生市武蔵野台1-15-1 電話552-3624

敷地面積 1,104.98 m²

建築延面積 564.30 m²

鉄筋コンクリート 地上2階建

職員 3人（内嘱託職員1人）

(2) 白梅分館 福生市熊川559-1 電話553-3454

敷地面積 2,158.03 m²

建築延面積 570.59 m²

鉄筋コンクリート 地上2階建

職員 3人（内嘱託職員1人）

(3) 地域会館（さくら会館）

地域の文化活動、学習活動の場として集会室、ホール及び学童クラブの併設を含め地域会館として平成11年4月に開館した。

福生市牛浜163 電話552-2123

建築延面積 1,953.88 m²

鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階建

シルバー人材センター管理委託

2 文化施設（茶室）概要

この茶室は、純和風造りで、茶道を始め、華道、俳句、その他の会合等、多目的に利用できる施設として平成5年7月に開館した。

茶室「福庵」福生市熊川854-3 電話530-7177

敷地面積 10,224.83 m²

建築延面積 194.35 m²

木造平屋建鋼板平葺

シルバー人材センター管理委託

(單位:回)

(1) 市民会館・公民館利用状況

施設名			月			4			5			6			7			8			9			10			11			12			19年1			2			3			合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			開館日数			26 日			26 日			26 日			26 日			27 日			26 日			26 日			26 日			24 日			24 日			24 日			27 日			308 日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総	有	減	総																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
																																										区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
市	ホー ル	大ホー ル	17		17	17		17	28		28	24		24	4		4	14		14	36		36	43		43	33		33	11		11	12		12	48		48	287		287																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		小ホー ル	20		20	17		17	26		26	37		37	16		16	17		17	34		34	34		34	25		25	9		9	19		19	24		24	278		278																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		小計	37		37	34		34	54		54	61		61	20		20	31		31	70		70	77		77	58		58	20		20	31		31	72		72	565		565																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
民 集 会 室 等	リハ ー サ ル 室 第1集 会 室 第2集 会 室 第3集 会 室 第4集 会 室 第5集 会 室 第6集 会 室 第7集 会 室 第8集 会 室 展 示 ス ペ ー ス 小計	リハ ー サ ル 室	5	6	11		6	6		22	22	14	15	29	1	9	10	2	20	22	4	27	31	3	29	32	20		20		4	4	5		5	3	30	33	57	168	225																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第1集 会 室	19	13	32	24	11	35	22	24	46	38	15	53	17	13	30	14	17	31	18	29	47	9	39	48	23	11	34	10	13	23	22	17	39	22	21	43	238	223	461																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第2集 会 室	15	24	39	22	20	42	24	32	56	31	21	52	17	17	34	19	30	49	21	30	51	19	42	61	19	16	35	15	17	32	21	25	46	19	27	46	242	301	543																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第3集 会 室	8	32	40	10	29	39	8	44	52	5	46	51		30	30	8	47	55	5	46	51	5	61	66	6	38	44	10	31	41	12	37	49	4	38	42	81	479	560																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第4集 会 室	5	39	44	3	36	39	10	55	65	1	56	57	5	53	58	3	55	58	11	48	59	1	61	62	1	49	50	3	52	55	7	44	51	10	52	62	60	600	660																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第5集 会 室	5	45	50	3	45	48	3	59	62		59	59	3	57	60	4	51	55	4	45	49	3	59	62	4	47	51	5	50	55	6	43	49	5	51	56	45	611	656																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第6集 会 室		18	18	6	15	21	7	21	28	5	26	31	2	12	14	3	27	30	20	24	44	7	39	46	6	20	26	1	18	19	11	24	35	11	21	32	79	265	344																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第7集 会 室		18	18	6	15	21	2	20	22	1	25	26		11	11	3	22	25	19	23	42	5	39	44	6	20	26	1	18	19	8	24	32	11	21	32	62	256	318																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		第8集 会 室	15	15	30	30	19	49	25	15	40	26	22	48	22	14	36	22	15	37	18	17	35	15	42	57	18	9	27	21	12	33	19	14	33	21	13	34		252	207	459																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		展 示 ス ペ ー ス								30	30		8	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

(2) 市民会館・公民館利用者数

(単位：人)

施設名			月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	19年1	2	3	累 計
			開館日数	26日	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	24日	24日	24日	27日	308日
市	ホ ー ル	大 ホ ー ル	5,541	5,409	9,362	4,140	950	4,062	7,894	12,700	3,550	3,200	7,562	13,495	77,865	
		小 ホ ー ル	1,685	1,880	1,550	2,080	820	1,800	2,860	3,310	2,100	820	1,970	2,280	23,155	
		小 計	7,226	7,289	10,912	6,220	1,770	5,862	10,754	16,010	5,650	4,020	9,532	15,775	101,020	
民 会 館	集 会 室 等	リハ ー サ ル 室	150	65	224	329	59	234	386	310	210	42	33	390	2,432	
		第 1 集 会 室	234	216	302	335	254	285	393	332	251	195	297	347	3,441	
		第 2 集 会 室	458	435	652	562	410	631	628	605	392	369	571	538	6,251	
		第 3 集 会 室	688	736	932	923	618	1,160	974	1,131	771	792	901	761	10,387	
		第 4 集 会 室	917	913	1,281	1,102	1,045	1,013	967	947	851	1,087	1,036	1,095	12,254	
		第 5 集 会 室	1,249	1,372	1,609	1,453	1,336	1,091	1,008	1,273	879	1,273	1,244	1,335	15,122	
		第 6 集 会 室	175	208	253	259	158	328	376	327	253	176	302	291	3,106	
		第 7 集 会 室	175	208	218	226	137	290	360	312	253	176	287	291	2,933	
		第 8 集 会 室	209	310	291	302	275	251	267	282	180	200	206	251	3,024	
		展 示 ス ペ ー ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小 計	4,255	4,463	5,762	5,491	4,292	5,283	5,359	5,519	4,040	4,310	4,877	5,299	58,950		
合 計			11,481	11,752	16,674	11,711	6,062	11,145	16,113	21,529	9,690	8,330	14,409	21,074	159,970	
公 民 館	調 理 室 美 術 室 音 楽 室 視 聴 覚 室 児 童 室	調 理 室	73	126	209	224	137	166	189	264	114	173	223	212	2,110	
		美 術 室	159	129	215	249	125	223	241	318	139	223	228	320	2,569	
		音 楽 室	455	581	678	505	291	670	685	695	671	491	632	624	6,978	
		視 聴 覚 室	336	300	448	489	279	440	430	649	509	441	389	551	5,261	
		児 童 室	175	195	352	335	100	305	265	474	305	235	250	270	3,261	
		合 計	1,198	1,331	1,902	1,802	932	1,804	1,810	2,400	1,738	1,563	1,722	1,977	20,179	
総 合 計			12,679	13,083	18,576	13,513	6,994	12,949	17,923	23,929	11,428	9,893	16,131	23,051	180,149	

前年度総合計	14,105	16,000	27,949	162									5,584	15,938	17,719	98,667
--------	--------	--------	--------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	--------	--------	--------

(3) 松林会館利用状況

(単位 件数：件 人数：人 金額：円)

月 開館日数 区分		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計		前年度合計	
		26		26		26		26		27		26		26		26		24		24		24		27		308 日			
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大集会室	主催	1	14	1	20	3	52	6	101	2	38	3	59	2	10	1	24	1	8	1	27	1	102	2	32	24	487	9	93
	一般	36	847	32	492	39	619	41	777	36	689	41	676	34	594	34	548	33	1,076	26	601	34	602	38	902	424	8,423	434	8,623
小集会室	主催	2	28	5	69	11	148	13	193	1	23	6	84	9	133	12	159	11	147	8	99	10	157	7	87	95	1,327	93	1,077
	一般	41	296	36	342	37	285	33	242	39	303	35	271	36	304	41	331	33	305	30	285	35	277	41	364	437	3,605	408	3,189
和室	主催	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	1	13	1	10	0	0	0	0	2	12	0	0	5	45	12	78
	一般	21	164	26	176	26	214	25	222	16	88	22	161	23	179	25	154	20	285	16	158	23	186	27	243	270	2,230	289	2,528
学習室	主催	0	0	2	34	4	37	2	21	0	0	2	10	0	0	1	7	0	0	0	0	1	4	2	10	14	123	31	343
	一般	31	194	24	137	33	214	38	295	25	164	25	161	24	149	24	147	27	181	22	143	31	197	28	176	332	2,158	343	2,093
保育室	主催	0	0	4	67	9	127	8	135	3	61	8	120	9	137	7	109	6	71	7	81	11	166	6	73	78	1,147	74	828
	一般	11	112	15	212	21	249	19	292	13	188	19	242	15	229	17	265	21	405	13	204	19	346	20	359	203	3,103	163	1,927
作業室	主催	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0
	一般	19	86	12	38	17	81	15	85	12	65	18	111	25	85	12	57	10	44	9	33	6	34	22	90	177	809	169	836
合計	主催	3	42	12	190	29	381	29	450	6	122	19	273	21	293	22	309	18	226	16	207	25	441	17	202	217	3,136	219	2,419
	一般	159	1,699	145	1,397	173	1,662	171	1,913	141	1,497	160	1,622	157	1,540	153	1,502	144	2,296	116	1,424	148	1,642	176	2,134	1,843	20,328	1,806	19,196
総 計		162	1,741	157	1,587	202	2,043	200	2,363	147	1,619	179	1,895	178	1,833	175	1,811	162	2,522	132	1,631	173	2,083	193	2,336	2,060	23,464	2,025	21,615
使用料	件数	13		18		16		19		20		16		11		19		11		9		15		14		181		155	
	金額（円）	15,200		16,600		16,600		18,700		24,100		14,500		14,800		16,300		10,800		8,600		16,100		11,900		184,200		170,900	

(4) 松林会館利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
主催事業	件数	3	12	29	29	6	19	21	22	18	16	25	17	217
	人数	42	190	381	450	122	273	293	309	226	207	441	202	3,136
住民の社会教育活動	件数	144	133	152	156	114	145	143	132	131	107	132	161	1,650
	人数	1,596	1,303	1,425	1,828	1,270	1,505	1,452	1,312	2,112	1,317	1,509	1,930	18,559
公共的団体	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	人数	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	16
政治・宗教的団体	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
企業	件数	6	4	4	6	13	11	5	6	1	3	3	4	66
	人数	42	41	46	42	105	92	67	39	4	50	21	32	581
その他	件数	9	8	17	9	14	4	9	14	12	6	12	11	125
	人数	61	53	191	43	122	25	21	135	180	57	106	172	1,166
合計	件数	162	157	202	200	147	179	178	175	162	132	173	193	2,060
	人数	1,741	1,587	2,043	2,363	1,619	1,895	1,833	1,811	2,522	1,631	2,083	2,336	23,464

(5) 白梅会館利用状況

(単位 件数:件 人数:人 金額:円)

月 開館日数	区分	4		5		6		7		8		9		10		11		12		18年1		2		3		合 計		前年度合計	
		26 日		26 日		26 日		27 日		26 日		26 日		27 日		25 日		24 日		24 日		24 日		27 日		308 日		308 日	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
集 会 室	主催	1	135	1	38	1	35	0	0	1	24	2	67	4	105	4	145	4	141	3	59	0	0	5	171	26	920	43	1,258
	一般	43	647	45	578	46	1,897	46	629	40	557	47	647	42	587	46	565	42	628	44	638	51	693	53	736	545	8,802	544	9,683
会 議 室	主催	0	0	0	0	4	77	0	0	1	8	3	65	9	139	8	101	4	29	2	18	3	19	2	21	36	477	92	1,430
	一般	33	388	32	366	29	350	30	328	30	320	31	280	29	328	23	249	27	369	32	373	26	295	35	409	357	4,055	370	4,270
和 室	主催	0	0	0	0	2	45	1	24	1	13	1	15	1	5	3	63	3	47	3	57	4	69	2	34	21	372	18	337
	一般	28	304	30	355	27	308	24	240	26	228	24	253	28	355	27	291	23	259	23	316	28	345	28	361	316	3,615	369	4,874
学 習 室	主催	0	0	0	0	0	0	0	0	3	50	7	63	4	50	7	103	8	98	9	103	11	196	1	14	50	677	17	209
	一般	33	260	35	295	33	255	34	261	21	150	30	249	31	270	31	230	22	199	23	182	27	209	27	215	347	2,775	426	3,527
作 業 室	主催	0	0	0	0	0	0	0	0	5	36	1	3	0	0	0	0	5	30	0	0	0	0	0	0	11	69	9	53
	一般	52	226	26	168	17	117	12	80	10	80	14	84	33	194	15	86	19	140	4	24	14	84	15	100	231	1,383	226	1,713
合 計	主催	1	135	1	38	7	157	1	24	11	131	14	213	18	299	22	412	24	345	17	237	18	284	10	240	144	2,515	179	3,287
	一般	189	1,825	168	1,762	152	2,927	146	1,538	127	1,335	146	1,513	163	1,734	142	1,421	133	1,595	126	1,533	146	1,626	158	1,821	1,796	20,630	1,935	24,067
総 計		190	1,960	169	1,800	159	3,084	147	1,562	138	1,466	160	1,726	181	2,033	164	1,833	157	1,940	143	1,770	164	1,910	168	2,061	1,940	23,145	2,114	27,354
使 用 料	件数	4		1		2		3		1		4		3		5		1		2		2		6		34		79	
	金額	7,400		1,000		1,200		4,400		2,400		5,100		2,400		8,100		900		2,000		1,100		6,700		42,700		129,900	

(6) 白梅会館利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
主催事業	件数	1	1	7	1	11	14	18	22	24	17	18	10	144
	人数	135	38	157	24	131	213	299	412	345	237	284	240	2,515
住民の 社会教育活動	件数	183	164	150	142	123	141	161	136	130	121	145	153	1,749
	人数	1,770	1,726	2,905	1,501	1,289	1,484	1,715	1,379	1,493	1,490	1,619	1,681	20,052
公共的団体	件数	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	2	8
	人数	9	0	0	0	30	11	3	20	0	0	0	44	117
政治・ 宗教的団体	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	件数	5	4	2	4	2	4	2	4	3	5	1	3	39
	人数	46	36	22	37	16	18	16	22	102	43	7	96	461
合計	件数	190	169	159	147	138	160	181	164	157	143	164	168	1,940
	人数	1,960	1,800	3,084	1,562	1,466	1,726	2,033	1,833	1,940	1,770	1,910	2,061	23,145

4 集会施設の利用状況

さくら会館利用状況

月	区分 開館日数	第一集会室		第二集会室		第三集会室		第四集会室		和 室		ホ ー ル		合 計			
		申請件数 (件)	人 数 (人)	申請件数 (件)	人 数 (人)	申請件数 (件)	人 数 (人)	申請件数 (件)	人 数 (人)	申請件数 (件)	人 数 (人)	申請件数 (件)	人 数 (人)	申請件数 (件)	人 数 (人)	使 用 料	
																件数 (件)	金 額 (円)
4	26日	34	214	30	241	29	397	28	245	24	222	58	938	203	2,257	50	69,100
5	26日	33	172	30	252	29	376	32	284	24	178	61	966	209	2,228	50	67,700
6	26日	41	260	32	228	43	652	37	378	25	194	56	969	234	2,681	69	83,100
7	26日	39	258	35	271	42	618	33	360	26	220	59	1,066	234	2,793	52	67,700
8	27日	32	222	33	211	28	332	19	165	14	102	55	862	181	1,894	65	87,400
9	26日	40	250	35	270	27	380	25	263	22	157	54	857	203	2,177	55	66,700
10	26日	40	291	42	370	38	555	30	335	38	322	57	1,067	245	2,940	55	51,500
11	26日	34	209	30	253	36	540	29	266	26	174	50	851	205	2,293	57	60,800
12	24日	36	247	34	269	29	408	22	207	27	219	51	1,003	199	2,353	44	49,700
19年1	24日	31	173	33	190	28	334	29	249	27	159	48	911	196	2,016	58	71,000
2	24日	32	255	33	337	36	571	29	259	29	251	55	874	214	2,547	56	54,000
3	27日	30	215	28	245	48	718	29	257	30	245	66	1,368	231	3,048	54	71,300
合 計	308日	422	2,766	395	3,137	413	5,881	342	3,268	312	2,443	670	11,732	2,554	29,227	665	800,000

前年度 合計	308日	520	3,541	491	4,835	135	2,257	472	4,898	491	4,501	688	13,137	2,797	33,169	542	954,200
-----------	------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-------	--------	-----	---------

5 文化施設(茶室)の利用状況

茶室「福庵」利用回数

(単位：回)

月	部屋 区分		茶 室	松の間	竹の間	立礼席	合 計	前年度合計
4	有	料	15	21	25	12	73	42
	減	免	0	0	0	0	0	0
	小	計	15	21	25	12	73	42
5	有	料	0	7	10	0	17	19
	減	免	0	0	0	0	0	0
	小	計	0	7	10	0	17	19
6	有	料	7	13	14	6	40	63
	減	免	0	0	0	0	0	0
	小	計	7	13	14	6	40	63
7	有	料	0	8	10	0	18	16
	減	免	0	1	1	0	2	0
	小	計	0	9	11	0	20	16
8	有	料	4	8	8	2	22	11
	減	免	3	3	3	3	12	0
	小	計	7	11	11	5	34	11
9	有	料	0	10	11	3	24	26
	減	免	3	5	5	3	16	4
	小	計	3	15	16	6	40	30
10	有	料	2	16	16	20	54	61
	減	免	2	2	2	0	6	27
	小	計	4	18	18	20	60	88
11	有	料	12	8	12	6	38	32
	減	免	15	15	15	12	57	16
	小	計	27	23	27	18	95	48
12	有	料	0	10	10	0	20	36
	減	免	0	1	1	0	2	8
	小	計	0	11	11	0	22	44
1	有	料	12	19	19	2	52	51
	減	免	3	7	7	3	20	4
	小	計	15	26	26	5	72	55
2	有	料	0	13	13	0	26	38
	減	免	0	0	0	0	0	8
	小	計	0	13	13	0	26	46
3	有	料	2	14	14	2	32	22
	減	免	0	0	0	0	0	1
	小	計	2	14	14	2	32	23
合 計	有	料	54	147	162	53	416	417
	減	免	26	34	34	21	115	68
	小	計	80	181	196	74	531	485

9 市民会館主催事業

(1) 大ホール事業

公 演 名	公演日	回数	有料入場者数 (人)	チケット料金(円)	入場料金(円)	委託料(円)
夏川りみConcartTour2006 ～とことわ～	9月10日	1	859	5,000	4,295,000	5,965,176
35Anniversary堀内孝雄リサイ タルツアー2006～OLD&NEW～	11月19日	1	556	5,000	2,780,000	7,033,488
ShakeCHA-Zコンサート2007 ～BURN～	平成19年3月4日	1	177	1,500	265,500	1,365,000
			10	500	5,000	
坂田おさむ & 速水けんたろう ファミリーコンサート	3月17日	2	212	1,500	318,000	3,675,000
合 計		5	1,814		7,663,500	18,038,664

(2) 小ホール事業

公 演 名		公 演 日	回 数	入場者数(人)
市 民 名 画 劇 場	リトル・ダンサー	5月20日	2	146
	陽はまた昇る	6月17日	2	257
	チャーリーとチョコレート工場	7月15日	1	218
	花のお江戸の釣りバカ日誌	8月19日	2	166
	ミニミニ大作戦	9月16日	2	114
	時雨の記	10月21日	2	268
	ハリーポッターと炎のゴブレット	11月4日	2	330
	隠し剣 鬼の爪	12月16日	2	373
	オールド・ルーキー	平成19年1月20日	2	162
	時代屋の女房	2月17日	2	234
	海辺の家	3月17日	2	138
合 計			21	2,406

※7月15日(土)上映のチャーリーとチョコレート工場については、停電のため
昼の部を中止とした。

7 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業・運営の企画実施について調査審議する機関である。

任期2年、定員10人で構成されている。

本年度の審議内容は次のとおりである。

第1回 平成18年4月13日(木)

- ・公民館長挨拶(司会進行)
- ・委員及び職員紹介
- ・正副委員長の選出
- ・平成18年度事業について
- ・東京都公民館連絡協議会総会について
- ・第44回東京都公民館研究大会について
- ・諮問答申についての勉強会について
- ・その他

第2回 平成18年5月11日(木)

- ・公民館運営審議会主催勉強会

第3回 平成18年6月8日(木)

- ・東京都公民館連絡協議会総会参加報告について
- ・都公研大会企画委員会参加報告について
- ・委員部会運営委員会参加報告について
- ・東京都公民館連絡協議会委員部会総会について
- ・勉強会参加報告について
- ・今後の活動について
- ・その他

第4回 平成18年7月13日(木)

- ・NPO法人に対する処遇について
- ・委員部会運営委員会参加報告について
- ・都公研大会企画委員会参加報告について
- ・都公研大会課題別集会検討会参加報告について
- ・平成18年度都公連役員会報告について
- ・委員部会全体会参加報告について
- ・その他

第5回 平成18年8月10日(木)

- ・委員部会研修会について
- ・都公研大会企画委員会参加報告について
- ・平成18年度都公連役員会報告について
- ・その他

第6回 平成18年9月14日(木)

- ・公民館のつどい実行委員会報告及び内容決めについて
- ・関東甲信越静公民館研究大会参加報告について
- ・委員部会研修会について
- ・平成18年度都公連役員会報告について
- ・その他

第7回 平成18年10月12日(木)

- ・公民館のつどいの内容決めについて(小委員会から報告)
- ・都公連委員部会役員会参加報告について
- ・都公研企画委員会参加報告について
- ・委員部会研修会参加報告について

- ・東京都公民館連絡協議会参加報告について

- ・その他

第8回 平成18年11月9日(木)

- ・公民館のつどいについて
- ・都公研企画委員会参加報告について
- ・都公連館長部会研修会参加報告について
- ・都公連委員部会参加報告について
- ・その他

第9回 平成18年12月14日(木)

- ・公民館のつどいの反省について
- ・都公連委員部会研修内容について
- ・都公研大会参加報告について
- ・その他

第10回 平成19年1月11日(木)

- ・都公連委員部会研修会について
- ・次期公運審について
- ・その他

第11回 平成19年2月8日(木)

- ・次期公運審について
- ・都公連委員部会研修会について
- ・その他

第12回 平成19年3月8日(木)

- ・要望書・申し送り事項の見直しについて
- ・講習会、研修会参加報告について
- ・今期を終えることについて
- ・平成19年度予算(案)について
- ・平成19年度東京都公民館連絡協議会定期総会について
- ・その他

公民館運営審議会の活動は以上定例会のほかに

◆管外研修・都公連関係 9回

- ・第47回関東甲信越静公民館研究大会(群馬県前橋市・参加者委員4名・職員1名)第44回東京都公民館研究大会(小金井市・参加者委員5名・職員12名)・都公連総会(東大和市)、都公連委員部会全体会(町田市)、管外研修(エセナおおた)

◆自主委員活動研修 15回

- ・公民館情報収集の検討、公運審だより6回発行、指定管理者制度の学習

8 奨励・援助

(1) 人的援助

各団体・個人の相談に応じ、随時、必要な助言、指導、援助を行った。

(2) 教材・教具などの貸出援助

社会教育備品貸し出し状況

	18 年										19 年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
利用件数	4	3	9	7	1	6	5	3	5	3	2	2	50	
液晶プロジェクター	2	1	3	3		3	2	1	2	2	2	2	23	
ビデオデッキ DVD デッキ			2	2		1	1			3			9	
スライド映写機													0	
OHP		2	3	3	1	1	1	1					12	
スクリーン	3	2	4	3		1	3			1	2	1	20	
暗幕				1									1	
平台													0	
音響機材一式			2	1		1				1			5	
照明機材一式	1		1	1									3	
8 ミリ映写機									1				1	
スポットライト			2	1					2				5	
穴あきボード							2						2	
フック (小)							30						30	
ハンドベル								1					1	
延長コード				1									1	

(3) 会場借上援助事業

この事業は、公民館利用団体が日頃の活動の成果を発表する場として市民会館の大小ホールを使用した場合、公民館が予算の範囲内でホールの借上料を援助するものである。

月 日	サークル名	会 場	入場者数
6 月 18 日	福生市音楽愛好者連絡会	大ホール	800 人
11 月 26 日	福生吹奏楽団	大ホール	470 人
3 月 25 日	福生児童合唱団フレンズ	小ホール	230 人

(4) 講師派遣援助事業

月 日	サークル名	講 師	入場者数
7 月 20 日	朗読の会 どんぐり	平井 任子氏	50 人
19 年 1 月 28 日	地域福祉学習会 ハートフル	菅井 真氏	50 人

19 年 3 月 15 日	サークルシュガー	辻 智子氏	22 人
3 月 31 日	福手の会	本多 忠雅氏	30 人

9 公民館主催事業

(1) 学級・講座

ア 幼児

保育室事業

子どもを保育室に預けることをとおして見えてくる子育てや自分の生活あり方を、女性問題の視点からとらえ直し、仲間と共に考えていく学習の場として実施した。

期 間 5月16日(火)～平成19年3月13日(火) 5コース全75回

会 場 公民館本館、松林分館、白梅分館

参加者 延べ947人

コース名	回数	参加者	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	延べ人数
本館金曜コース(前期)	15	11	0	8	3	0	0	0	149
本館金曜コース(後期)	15	15	2	10	1	2	0	0	207
松林火曜コース(前期)	15	15	4	4	7	0	0	0	214
松林火曜コース(後期)	15	15	3	5	4	3	0	0	192
白梅木曜コース	15	15	0	6	7	2	0	0	185
合 計	75	71	9	33	22	7	0	0	947

親子のための食育講座

食育の必要性が唱えられているが、その内実は農業理解と伝承食の継承に偏っている。そこで、ここでは食や農の体験を通じて、親子関係や地域との関係を再構築するような講座を実施した。講師を福生市内の農家をはじめ、公民館に登録しているサークルの方々にお願いし、世代間交流の起点となる講座として実施した。

期 間 8月～平成19年3月 不定期で天候や講師の都合、伝統行事日程に合わせて全12回

会 場 白梅分館他 参加者 延べ400人

講 師 熟年ひろば、桜陶会、第二陽青会、フリースクール、原ヶ谷戸農家、地域市民ほか

月日	テーマ・内容	講師
8月10日	茶わんづくり教室	桜陶会
8月26日	茶わんづくり教室	桜陶会
9月17日	お月見教室(ゆで馒头とお抹茶体験教室)	熟年ひろば第二陽青会
9月23日	秋冬野菜栽培体験	原ヶ谷戸農家
10月29日	ずりだしうどん体験	地域住民
11月18日	秋冬野菜収穫体験、小麦種まき体験	原ヶ谷戸農家
11月25日	秋冬野菜収穫体験	原ヶ谷戸農家

12月 24日	餅つき体験	熟年ひろば 地域住民
1月 27日	麦踏み体験	原ヶ谷戸農 家
2月 3日	味噌づくり体験	フリースク ール

2月 4日	味噌づくり体験	フリースク ール
3月 21日	じゃがいも植え付け体験	原ヶ谷戸農 家

イ 少年

親子防犯講座

犯罪を未然に防ぐために子どもも大人も一緒にできる実践的な女性のための護身術を体験や、また身近なところで防犯活動をしている方のお話を聞いた。防犯意識の向上とともに協力し合い安全に暮らせるまちづくりを目指して実施した。

第1回目は大人も子供も出来る護身術 Wen-do (ウェンドゥー) を体験し、第2回目は市内の小学生が作成した地域安全マップから市内のどこでどんな犯罪が起きているのか、またどのようなことに気をつける必要があるのか考えた。

期 間 7月28日、8月18日 金曜日

午前10時～正午 全2回

会 場 公民館本館 第4・5集会室

参加者 延べ19人

講 師 大沼もと子氏 (Wen-Do Project)、湯原宗登氏 (福生警察署)、生活環境部地域振興課地域安全係職員

月 日	内 容
7月28日	「護身術体験」 講座ガイダンス、参加者自己紹介、Wen-do (ウェンドゥー) 体験
8月18日	「防犯マップを見てみよう」 地域安全マップについて、市内の犯罪発生状況と防犯対策

夏休み自然体験教室

地域での子どもの異年齢集団が崩壊している。キャンプなどの共同生活体験を通して、生活技術の習得や仲間と協力しながら物事を進める力を身につける。

期 間 7月26日 (水) ～8月23日 (水)

原則として午後1時30分～4時 全6

回

会 場 公民館本館、三頭山、山のふるさと村

参加者 延べ79名

講 師 小林野乃子氏、東京農工大ネイチャーゲーム研究会

月 日	テーマ	内 容
7月26日	はじめまして	自己紹介、班分け、何して遊ぶ? 遊びの内容を考える
8月2日	キャンプで何食べる	キャンプの食事内容を考えてよう
8月9日	食事作りにチャレンジ	キャンプでのメニューの中から試しに作ってみよう
8月16日	ネイチャーゲームをしよう	食材などの買出し、最終確認 ネイチャーゲーム
8月17日～18日	キャンプ	拝島～五日市～都民の森～三頭山～山のふるさと村
8月23日	まとめと反省	この教室で学んだことやキャンプのことなどまとめてみよう

夏休み子ども映画鑑賞講座

ジブリ作品の映画を見て、感想文を書く。作品は2日間2作品を鑑賞する。作品については、子どもたちのリクエストから選ぶ。自分の感想をどのように表現したら他人にわかってもらえるか、感想文を通して学ぶ。また他の子がどのように感じたかを、発表を通して理解する。さらにジブリ美術館の見学を一緒にすることにより、仲間意識を育てる。

期 間 8月24 (木)・25 (金)・30日 (水)

午後1時30分～4時 全4回

会 場 公民館本館

参加者 延べ20人

あそびを発見しよう

社会教育法の改正、学校教育の中での自然体験学習の必要性が語られる一方、安全で安心な子どもの居場所の問題も大きくクローズアップされてきている。

現状としては、参加対象の子どもそのものが携帯電話や携帯用ゲーム機器などを中心とした遊びにシフトされ、また、塾やお稽古事に時間を割くことで、仲間との時間と身体を使った遊び、地域の川原や雑木林などでの野外遊びの機会が減少している。

身近な空間で仲間と一緒に新たな経験をつむことは、地域の発見や仲間と自分とのコミュニケーションの体験の機会として、実験的な取り組みとして実施した。

期 間 4月22日(土)～10月7日(土)

午前9時～午後4時 全13回

会 場 市内公園・多摩川・滝山・草花丘陵など

参加者 延べ138人

月 日	テ ー マ・内 容	講 師
4月 22日	オリエンテーション ゲームで自己紹介事業の内容紹介・公園でネイチャーゲームを行った	田中康 春氏
5月 7日	松林分館の陶芸サークルの方から、夏のキャンプで利用するお皿を陶板で作成した。その後、本焼きしてもらった。	武 井 修氏
5月 22日	川原の植物を利用し、てんぷらやヨモギ団子を作成して食べた。その他、水生昆虫や魚などを捕獲・観察した。	上田大 志氏

6月 10日	多摩川で魚を釣ってみる。多摩川河川敷内にあるシノダケを利用して竿を作り、水生昆虫をえさとして釣ってみた。	田中康 春氏
6月 18日	木工工作で、スプーン作りを行った。このスプーンも、夏休みに予定しているキャンプ用のためである。	田中康 春氏
7月 2日	前回に続き、木工工作でスプーン作りの続きと、竹を利用してはしや食器を作成した。施設見学の打ち合わせを行った。	田中康 春氏
7月 8日	西東京市の六都科学館へ施設見学に出かけた。グループごとに研究テーマを用意し、見学のあと話し合った。	田中康 春氏
7月 22日	夏休みのキャンプの打ち合わせを行い、材料の買出し日時や各自の役割分担を決めた。	田中康 春氏
8月 10日	台風の影響で、キャンプが中止となり、一日だけで多摩川でデイキャンプを行った。	田中康 春氏
8月 17日	川原で生息する昆虫(特にバッタ)を捕獲し、観察を行う。その後、多摩川で魚釣りも行った。	田中康 春氏
9月 3日	草花丘陵に出かけ、夏から初秋にかけての生物の観察や、草花丘陵の自然の様子を観察した。	田中康 春氏
9月 23日	滝山丘陵で栗を拾い、アケビを見つけて食べてみた。また、滝山丘陵の歴史なども見て歩いた。	田中康 春氏
10月 7日	反省会。今までの遊びを振り返り、どんなことに気がついたのかをみんなで話し合う。	田中康 春氏

昨年は10月から2月までの秋冬期間に行い、今年度は春秋期間に実施した。年間を通して同じメンバーで実施することが、参加者同士の親密度も向上することが、観察していてわかる。

参加する子ども自身の課題は、年々深刻になるように思われる。昨年同様、耐性が身につけていない

実態が度々見られた。また、自分の意見を言い、相手の意見を聞くといったコミュニケーションのとり方が非常に弱くなっていると感じた。

大学生の田中康春氏が全回参加し、子どもたちにいろいろアドバイスしてくれたが、年齢の近い大学生でも、理解できない状況があるように見えた。参加者と年齢の近い高校生や大学生の参加の仕組みと、事業のときだけではなく日常的に公民館にやってくるような仕組みを子ども対象の事業として作る必要性を改めて感じた。次年度以降、子どもと公民館の位置づけを多角的に検討する必要がある。

そうさく仲間

学校教育の中で、個々の能力を引き出す伸ばす時間の余裕が減りつつある。手先を使う作業を繰り返して経験する事は、集中力を養い、創造力を生む機会にもつながる。そこで、モザイクチップをならべて、モザイク画「海の中の生き物」を下絵に額を作る。「ゴッホのひまわり」の塗り絵も行なう。年齢を超えて、互いに協力し、物作りをする機会とする。

期 間 7月25日(火)～7月28日(金)

午後1時30分～午後3時30分 全4回

会 場 松林分館

参加者 延べ59人

講 師 藤田俊哉氏

月 日	内 容
7月25日	オリエンテーション・自己紹介・タイルについての説明・下絵
7月26日	図案の大きさに合わせて切断したタイルを丁寧に貼り付け仕上げていく
7月27日	色の配置を学ぶ。仮組み。誤差に気をつけながら作業をしていく
7月28日	組み合わせ・色の配置 鑑賞とまとめ

たんけん仲間

室内遊びが増えている小学生に夏休みを利用して、公園を中心に、身近な自然を見つけ遊びの中から経験を重ねていく。また、異年齢集団の中での自分の居場所を見つけ、仲間と共に散策する。川遊び、虫取り、魚取り、鬼ごっこ等野外遊びを体験する事で、人との関わり方を肌で感じ、身体を充分に使って、活動する機会とする。

期 間 8月1日(火)～8月4日(金) 午前9時30分から正午 8月4日のみ、午前9時から午後2時30分 全4回

会 場 松林分館

参加者 延べ60人

講 師 杉浦 巨紀氏、澤井 友和氏

月 日	活 動 場 所	内 容
8月1日	会 館 庭、周辺	オリエンテーション 自己紹介 体験学習 庭草木植物調べ
8月2日	武蔵野 台南公園	視野を広げる 草木を注意してみる ゲーム遊び 体験学習
8月3日	武蔵野 公園	鬼ごっこ遊び グループ遊び 体験学習
8月4日	草花丘陵	河原遊び 体験学習 学んだ事を仲間と確認

子どものための食育講座

食生活の乱れが指摘されている昨今、子どもを対象とした農業体験と食生活体験を組み合わせた食育講座を実施した。ここでの対象は一般の子どもだけでなく、他機関との連携も視野に入れて学童保育たんぽぽクラブと合同で実施した。

期 間 6月～11月 全9回

会 場 白梅分館他

参加者 延べ 200 人

講 師 熟年ひろば、第二陽青会（白梅サークル）、熟陶会、野村卓（白梅分館嘱託員）

月日	テーマ・内容	講師
6 月	バケツ稲田植え、サツマイモ 植え付け体験	白梅分 館職員

9 月	ゆで饅頭、お抹茶体験	熟年ひろば、 第二陽 青会
10 月	茶わんづくり教室	熟陶会
11 月	バケツ稲刈り取り体験、サツ マイモ掘り取り体験	白梅分 館職員

ウ 女性（一般）

保育室併設講座（前期）「心地よい食卓作り」

子どもの一人食への増加、その背景にある家庭の食環境（単調・簡単な食事）から家族そろって食事をするのが困難となっている。家族のかかわりを、夫婦・親子間の関係を食卓を囲むという視点から考えあった。

期 間 5月26日（金）～10月20日（金）

午前10時～正午 全15回

会 場 公民館本館

参加者 延べ169名

講 師 NPO法人 食生態学実践フォーラム

内 容

月日	テーマ	内容	講師
5月26日	はじめて （保育室 オリエン テーショ ン）	はじめての保育室、親子そろって仲間や保育者との顔合わせ、自己紹介など	
6月2日	子どもを あずけて 学ぶこと （講座オリ エンテー ション）	保育室併設講座の導入として、公民館保育室のことや子どもを預けることを学習につなげていきます	佐々木京子氏（公民館保育者）
6月9日	私の食卓 今・昔①	自己紹介を兼ねて、食卓の風景を絵にして発表をします。 ＜色鉛筆を持ってきてください＞	NPO 食生態学実践フォーラム
6月16日	私の食卓 今・昔②	皆さんの食卓風景を参考に、食や子育てについての興味や関心、悩みなどを話しあいます	

6月23日	保育室の子どもたち① （保育室学習会）	保育室での子どもたちの様子から、子どもの成長をどうとらえるか？ 保育室で大事にしたいこと…などを話し合います	佐々木京子氏（公民館保育者）
6月30日	食事のリズム	空腹感や食欲を感じ、それを適切に満たす心地よさを、食生活の中から考えてみます。子ども孤食について現状と課題を話し合います。	NPO 食生態学実践フォーラム
7月7日	一緒に食べたい人がいる	調理実習 たのしいお弁当づくり	
7月14日	保育室の子どもたち② （保育室学習会）	保育室での子どもたちの様子から、子どもの成長をどうとらえるか？ 保育室で大事にしたいこと…などを話し合います	佐々木京子氏（公民館保育者）
9月8日	食生活にかかわる	好きなものが自由に食べられる時代の中で、食事作りや食事場面をどのように親子で作っていったらいいのかを話し合います。	NPO 食生態学実践フォーラム
9月15日	親子で楽しく食べるには	「食事が楽しい」とはどういうことか。誰とどのよう食べるのか、食事の風景を考えてみます。	
9月22日	心地よい食卓とは	食生活における「安心感」「心地よさ」とは何かを話し合います。	
9月29日	保育室の子どもたち③ （保育室学習会）	保育室での子どもたちの様子から、子どもの成長をどうとらえるか？ 保育室で大事にしたいこと…などを話し合います	佐々木京子氏（公民館保育者）
10月6日	これからの食生活に望まれるもの	子どもの食をめぐる現状から、望まれる食生活とは何かを話し合います。	NPO 食生態学実践

10月 13日	総括	誰とどのように食卓を囲むことが心地よさを生むのか、家族の関わりや地域の関わりから考えて見ます。	フォーラム
10月 20日	保育室の子どもたち④ (保育室学習会)	保育室での子どもたちの様子から、子どもの成長をどうとらえるか？ 保育室で大事にしたいこと…などを話し合います。また講座を通して学んだ事を確かめ合います	公民館保育者

保育室併設講座（後期）「どうしたらいいの？ 絵本・おもちゃ・テレビ」

子どもの成長発達と絵本・おもちゃ・テレビのかわりを切り口に、子育ての智慧を学びあう。また、子どもを保育室にあずけることをとおし、女性がおかれている状況を見つめなおし、夫や家族、仲間や社会とのよりよい関係づくりを探っていく。

期 間 11月10日(金)～平成19年3月9日(金)

全15回 午前10時から正午

会 場 公民館

参加者 延べ193人

内 容

月日	テーマ 内容	講師・助言者
11月 10日	はじめまして～保育室オリエンテーション	職員
11月 18日	講座オリエンテーション 自己紹介、公民館で学ぶこと、子どもを預けて学ぶこと等	田中加代氏 (公民館保育者)
11月 24日	子どもの成長発達をどうとらえるか 映画「アリス・ヒトから人間への記録」を見てグループ討議。子育ての悩みや考えを出し合いグループ討議	職員
12月 1日		
12月 8日	保育室学習会1 子どもを預けてみて、子どもの泣き等について話し合い	田中加代氏

12月 15日	お楽しみ会の話し合い 次回の自主活動に向けて企画を話し合い、準備	職員
平成 19年 1月 12日	絵本—こんな絵本が子どもは好き 絵本選びは子どもの選びとる力に添う。絵本は親にとつての育児指南書でもある。子育て期間は人生の中ではイレギュラーであり、自分の将来を見据え、今をどう生きるか。	赤木かん子氏 (子どもの本の研究者)
1月 19日		
1月 26日	保育室学習会2 仲間と共有する、異年齢集団で遊ぶこと。	田中加代氏(公民館保育者)
2月2日	おもちゃ—遊びの中に育ちがある— 遊び力=企画・創造・コミュニケーションの総合力=の大事さを確認。おもちゃの持つ機能(主食・おやつおもちゃ)。感じることの大切さ。簡単にできる手作りおもちゃ製作	多田千尋氏(芸術教育研究所長、おもちゃ美術館館長)
2月9日		
2月 16日	保育室学習会3 子ども同士のかかわり、自分の意見を伝える、みんなで一緒に考える	田中加代氏(公民館保育者)
2月 23日	テレビ—子どもへの影響と上手なつきあい方 映像でなければ伝わらないことがある。情報の中身が大事。テレビやビデオがどんな影響をおよぼすのか？	赤木かん子氏 (子どもの本の研究者)
3月2日	調査をもとにした研究成果もふまえ、他の遊びや生活を振り返る。参考文献を読み合い、レポート、話し合い。	職員
3月9日	保育室学習会4 主体的におやつの時間をつくっていく子ども達	田中加代氏(公民館保育者)

親子フラダンス教室

親子ともにフラダンスを学び、音楽にのって踊ることを楽しむ機会とした。子どもにとっては、音楽や踊りをとおして健やかな心と体をはぐくみ、親にとっては気持ちが通じた一緒に踊れる仲間作りを目指した。

期 間 6月15日(水)～7月27日(水)

午前10時～正午 全7回

会 場 公民館本館第4・5集会室

参加者 延べ83名

講 師 木沢笑子氏

内 容

ハワイ6つの島の比較(島の花・島の色)

フラダンスの練習 「Peary Shells」 「PUAMANA」

お弁当作りをととして食生活を考える

高度経済成長に伴い食生活構造も変化した。食の外部化が進行し、食事の量や質の選択は「家庭」から「個人」へと移り、一人一人が自分で健康や食事の管理が必要となっている。

この講座では、何をどれくらい食べたらいいのかを、1食単位で考えることをととして、バランスの良い食事について学び、実践につなげた。

期 間 平成19年2月14日(水)～3月28

日(水) 午前10時～正午 全7回

会 場 公民館本館 第2集会室

参加者 延べ16名

講 師 NPO法人 食生態学実践フォーラム

内 容

回数	日 時	内 容
1	2月14日	オリエンテーション 自己目標を決める
2	2月21日	料理カードを使って、料理構成を学ぶ

3	2月28日	食事のものさし「3:1:2弁当箱法」を学ぶ
4	3月7日	作成する料理の選択、決定、作り方の確認
5	3月14日	弁当箱の設計図を作る 弁当箱の容量の確認
6	3月21日	調理実習(弁当作りの実習)
7	3月28日	各自実践した様子の勉強会

保育室併設講座(前期) 子育て学習「こんなはずじゃない…」

子育て中心の毎日を送っている親御さんにとって、育児は新しい発見と戸惑いの繰り返しで、楽しいこともあるが、時にはつらいもの、投げ出したくなる場合もある。子育てを通して見えてきた事を見直し、講師から話題提供も受けながら、参加者同士が意見を述べ、参加者自身で、解決の糸口を見つけ出していく機会とする。個人のことで終わらず親として、大人として、社会人であることを自覚し、考える機会を作る。

期 間 5月16日(火)～10月24日(火)

午前10時～正午 全15回

会 場 松林分館

参加者 延べ216人

講 師 林田道子氏

プログラム

月 日	本 日 の テ ー マ	講 師
5月16日	保育室オリエンテーション	職員・保育者

5月23日	講座オリエンテーション	職員・保育者
5月30日	子どもの生活習慣について	林田 道子氏
6月6日	子どものしつけについて	林田 道子氏
6月13日	保育学習会①	大野真理子氏 (公民館保育者)
6月20日	子どもと遊ぶ	林田 道子氏
6月27日	子どもを預けあう	林田 道子氏
7月4日	しかる事・誉めること	林田 道子氏
7月11日	保育学習会②	大野真理子氏 (公民館保育者)
9月5日	マナーとルール	林田 道子氏
9月12日	子どもの安全	林田 道子氏
9月26日	保育学習会③	大野真理子氏 (公民館保育者)
10月3日	家族で子育て	林田 道子氏
10月17日	まとめ・仲間づくり	林田 道子氏
10月24日	保育学習会④	大野真理子氏 (公民館保育者)

保育室併設講座（後期）「手作り絵本教室」

「今の想いを絵本に残して未来の子どもに伝えませんか？」をテーマとし、絵本を製作した。想いを絵本にすることで、自分の気持ちを整理し向かい合う。家で絵を描くことで家庭内における自分の位置や家族との関係を見つめるきっかけとした。

期 間 11月7日(火)～平成19年3月13日(火)

午前10時～正午 全15回

会 場 松林分館

参加者 延べ193人

講 師 木住野利明氏（絵本作家、造形作家）

回	月 日	内 容	講 師
1	11. 7	保育室オリエンテーション	担当職員 担当保育者
2	11. 14	講座オリエンテーション (公民館・講座について)	〃
3	11. 21	絵本とは	木住野利明氏
4	11. 28	絵本について（技術的なこと・考え方・発想・何をきっかけにシナリオ作りをするか）	〃
5	12. 5	保育学習会①（保育室の出来事を通して学ぶ）	會田ゆき子氏 (公民館保育者)
6	12. 12	ストーリー・ダミーの発表・講師の助言、画材（絵の具・紙）の説明	木住野利明氏
7	12. 19	ストーリー・ダミーの発表・講師の助言	〃
8	1. 16	本描きの発表・講師の助言	〃
9	1. 23	保育学習会②（保育室の出来事を通して学ぶ）	會田ゆき子氏 (公民館保育者)
10	1. 30	本描きの発表・講師の助言	木住野利明氏
11	2. 6	製本の仕方	〃
12	2. 20	保育学習会③（保育室の出来事を通して学ぶ）	會田ゆき子氏 (公民館保育者)
13	2. 27	製本	木住野利明氏
14	3. 6	合評会	〃
15	3. 13	保育学習会④（保育室の出来事を通して学ぶ）	會田ゆき子氏 (公民館保育者)

保育室併設講座「母親業は十年一日のごとしを問い直す」

昨年度の講座では、妊娠、出産のところまでさかのぼって親と子の絆を見つめ直すことを通して、親が自分をどう育てたのかを考えたときに、自分が今抱えている苦労を実は親も抱えていたことが分かり、新たに「母親」はいつの時代にも同じような悩みを抱えながら子育てをしていることを知ったのである。

そこで、今年度は上記のテーマを掲げて、子育て期の女性が抱える悩みが昔も今も変わらない状況があるのならば、なぜそうなのか、その状況を変えていくためにどうしたらよいのか、ということに参加者自身の対話型学習によって探ることにした。

期 間 11月9日(木)～平成19年3月8日
(木) 午前10時～正午 全15回

会 場 白梅分館

参加者 延べ161人

講 師 村田晶子氏、辻 智子氏、秋山典子氏

助言者 高橋洋子氏、黒木まゆ美氏、
田中岳人氏

月日	テーマ・内容	講師
11月9日	保育室オリエンテーション	保育者・職員
11月16日	公民館で学ぶということ 自己紹介 参加者の話の中から見えてきたこと	村田晶子氏
11月30日	夫はどう関わっているか 預けることを「子どもにとって」の視線で考える 学習テーマの三本柱	〃
12月7日	子ども同士の関係を育てる 自分たちの学習をどう考えるか 話し合うこと、記録、感想文を考える	〃

12月14日	自分はどう生きてきたか —女性問題の視点で—	秋山典子氏
12月21日	公民館での学びが生き方に 影響を与えた事例 地域で子育てを支え続けている事例	秋山典子氏 高橋洋子氏 黒木まゆ美氏
1月11日	感想文を書くかどうかを話し合う 兄弟間、子ども同士、自分と子ども、自分と夫の関係を考える	辻 智子氏
1月18日	保育学習会1 子どもを預けてみてどう感じているか？保育室だより6の内容を基に子ども同士の関係を考える	保育者・職員
1月25日	学習の中で記録をとる意味 子どもが泣くことと学習を続けることを考える 子ども同士の交流に果たす親の役目とは？ 来週のテーマを決める	辻 智子氏
2月1日	グループで話し合い —自分と子ども、夫と子どものコミュニケーションしつけをどう考えるか？ 家庭の中での夫との役割分担—	〃
2月8日	前回のテーマに沿って引き続き話し合い しつけをどう考えるか？ 家庭の中での夫との役割分担	〃
2月15日	自分と子ども、夫と子どものコミュニケーションをどうしているか話し合う	辻 智子氏 田中岳人氏
2月22日	グループで話し合い(話題も自分たちで決めて) 一夫と子育てについて話しているか？ 早期教育をどう考えるか？—	辻 智子氏
3月1日	講座を終えて自分の中に変化は生じているか？ 講座から見えてきたことを今後はどうつなげるか？	〃
3月8日	保育学習会2 子どもたちの成長をどう捉えているか？	保育者・職員

女性のための食育講座

癒しのための食育講座を、成人女性を対象として実施した。ハーブを栽培しながら、生ハーブ茶を楽しみながら、栽培体験をおこなった。

期 間 9月～11月 全4回

会 場 白梅分館他、原ヶ谷戸村野農場

参加者 延べ10人

講 師 村野弥太郎氏（農業者）、野村卓（白梅分館嘱託員）

月日	テーマ・内容	講師
9月	ハーブのプランタ栽培	白梅分館職員
9月	ハーブのプランタ栽培	白梅分館職員
10月	プランタ野菜栽培	村野弥太郎氏
11月	畑でのハーブ栽培	村野弥太郎氏

エ 成人・一般

市民文化教室

- 1 主催 福生市公民館・福生市文化協会
- 2 目的 多くの市民に趣味や芸術、教養に関する初歩的学習会を提供することにより
市民文化活動への参加を促し、その活動の拡大に努めた。

10 教室（各 10 回）

コース名	期 間	曜	時 間	会 場	延参加数 (人)	指 導 者
三味線	8/17～10/26	木	午後 7 時 ～ 9 時	公民館本館	115	清水武二氏
民舞踊・新舞踊	8/23～10/25	水	午後 7 時 ～ 9 時	公民館本館	126	中本靖子氏
詩吟	8/23～10/25	水	午後 7 時 ～ 9 時	公民館本館	45	井上誠氏
福生天王ばやし	8/17～10/19	木	午後 7 時 30 分 ～ 9 時 30 分	扶桑会館	73	石上全志氏
民 謡	8/23～10/25	水	午後 7 時 30 分 ～ 9 時 30 分	扶桑会館	166	木住野きみ子氏
書 道	8/26～10/28	土	午前 10 時～ 正午	公民館本館	68	木村紅美氏
茶 道	9/5～11/21	火	午後 6 時 ～ 9 時	茶室福庵	102	杉浦陽子氏
いけばな	8/18～10/20	金	午後 2 時 ～ 4 時	公民館本館	87	益子久栄氏
着 付 け	9/16～11/25	土	午後 7 時 ～ 9 時	さくら会館	149	木沢笑子氏
尺 八	9/6～11/8	水	午後 7 時～ 8 時 30 分	公民館本館	10	平澤美治氏

初心者楽しい俳句講座

五・七・五といえば、世界で一番短い詩でありそれを音に数えたものである。この一行詩を作り、かつ読むことを楽しんでいくものである。俳句の基本から学び仲間をつくり地域の情報交換をしながら、よいまちづくりを目指すため実施した。

期 間 10 月 19 日～平成 19 年 3 月 15 日

木曜日 午後 7 時～9 時 全 6 回

会 場 公民館本館

内 容 俳句の三大約束事を使い実施

参加者 延べ 78 人

講 師 小澤 寛氏

初心者楽しいウクレレ講座

ウクレレ講座を通し仲間づくりをして地域の情報交換を図りながら、よいまちづくりを目指す。さらにウクレレを通し音楽に親しみをもち技術の向上を目指すため実施した。

期 間 8月8日～12月19日

火曜日 午後7時～9時 全20回

会 場 公民館本館

内 容 基礎から応用

参加者 延べ365人

講 師 島 英之氏

裁判員制度講座

あと2年後に始まる裁判員制度であるが、まだまだ制度が国民には浸透していないのではないかと。現在の裁判は司法の分野の関係者だけで執行されている。裁判結果において納得のいかない判決があることは事実ではないか。そういう意味からも、自分が裁判員に選ばれたら対処できるように学習をした。

期 間 11月11日～11月25日

土曜日 午後2時～4時 全3回

会 場 公民館本館

内 容 裁判員制度の概要、模擬裁判等

参加者 延べ23人

講 師 現職の裁判官、検察官、弁護士

点字講座

地域社会において、歩道や駅や建築物あらゆる場所で視覚障害者に対しては、まだまだ完全にバリアフリーになっていないのが現状である。そこで講座

を通して、視覚障害者に対しての理解を深めるとともに、広く市民に呼びかけバリアフリーを推進していく学習とした。

期 間 10月17日～11月14日 火曜日

午後1時30分～3時 全5回

会 場 公民館本館

内 容 ・視覚障害者への理解を深め、街中の点字の役割などを学ぶ。

・点字名刺、点字メニューの作成。

・アイマスク体験

・点字クリスマスカードの作成

参加者 延べ26人

講 師 乙津由紀子氏、及川清氏、及川タカ氏

ワインの基礎知識

ワインは嗜好品ではあるが、社交の時の役割は非常に大きい。相手に対するマナーもこういった場では大事である。基礎知識を得ることにより人間関係も幅広くなっていくものである。参加者同士の交流を深めるため実施した。

期 間 平成19年3月10日 土曜日

午後2時～4時

会 場 公民館本館

内 容 ワインの雑学、他のお酒との違い、ワインの分類、ぶどうの原産地、ワインの歴史、格付け、保存方法等

参加者 延べ27人

講 師 長田克彦氏

救急救命「AED操作講習会」

AEDの機械操作に慣れ、市民がAEDを使用し心肺停止患者に対し迅速に救命処置が行える環境を整備したい。救急講習・AED操作講習・質問相談

などを行った。

期 間 7月26日 水曜日
午後2時～4時
会 場 公民館本館
参加者 15人
講 師 福生消防署救急隊員

モーツァルト生誕250周年音楽鑑賞講座

モーツァルト生誕250周年にあたりモーツァルトの作品を鑑賞する。加えてモーツァルトの生涯も学習し人間像もとらえる。この講座を通してモーツァルトだけではなく広くクラシック音楽に興味を持ってもらえるようにする。

モーツァルトの生涯を幼年期・青年期・晩年期と区切りその時代のモーツァルトの出来事と作品と鑑賞した。

期 間 10月29日～12月17日
全5回 日曜日・午後2時～4時
会 場 公民館本館
参加者 延べ73人
講 師 江端 津也子氏

歴史講座「三国志演義に親しむ」

三国志演義・水滸伝・西遊記・金瓶梅これら中国四大奇書を隔年で学ぶことにより、中国の歴史及び歴史観並びに中国文学の理解を深める。

後漢末期の騒乱期から魏・呉・蜀に分かれた三国時代、そして魏によって中国が統一されるまでの約60年間の出来事を正史と演義に沿って講義した。

期 間 11月11日～12月16日

土曜日 午後2時～4時 全6回

会 場 公民館本館
参加者 延べ99人
講 師 野島 進氏

人権講座「あなたはこどものいのちを守れますか」

私たちは誰もが犯罪被害者となる可能性があります。制度の改革だけでなく、被害者及び家族の人たちの立場に立って考え、支援することが大切だ。また、新たな犯罪被害者やその家族をつくらないためには、自分が加害者にならないことも重要である。「飲酒運転は絶対にしない」等当たり前の社会のルールを守ることが誰にでもできること。自分のことから始めることも犯罪被害者とその家族を少なくしていく大事な取組ではないだろうか。

期 間 平成19年1月18日～2月15日 木曜日
全5回 午後7時30分～9時30分
会 場 公民館本館
参加者 延べ52人
講 師 菅原 直志氏、高橋 シズエ氏
武田 さち子氏、高橋 美恵子氏

音楽講座「男声ハーモニー」

今年は多くの団塊の世代の人たちが、退職を迎える。退職をしてからの人生をどのように過ごすか、本人・地域社会にとっても重大な関心事となっている。そこで男性だけの音楽コーラスを企画し、参加者同士のふれあいにも着目し、相互交流を築くきっかけの場とした。

内 容 (曲目)

Believe・乾杯・切手のないおくりもの 他

期 間 平成19年1月13日～2月16日
全6回 金曜日・土曜日
午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館
 参加者 延べ88人
 講 師 高橋逸子氏、中山佐和子氏

平和フィールドワーク「被災地・深川を歩く」

当時深川で大空襲を体験した西村信友氏とともに実際に被災地・深川を歩き、参加者とともに改めて、戦争に悲惨さ、愚かさ、平和の尊さ、命の大切さを参加者ともども考え、肌に刻んでいきたい。そして、この空襲体験を語り継ぐ機会を大切にしていきたい。

講師の西村氏が作成したフィールドワーク資料（昭和49年東京都発行「東京大空襲・戦災誌第1巻」東京空襲を記録する会編集・一部抜粋）をもとに、都民の空襲体験記録をあらかじめ参加者に読んで来ていただき、その場所を尋ね、講師の自らの体験談をもふまえながら、当時の空襲の悲惨さを参加者とともに肌に刻んでいった。

日 時 平成19年3月11日 日曜日
 午前8時～午後6時

会 場 都内深川付近
 参加者 6人
 講 師 西村信友氏

ほほえみハイキング

歩くことの重要性を認識していても一人では実行しにくい。個々のレベルにあった安全登山をおこない、植物鑑賞、バードウォッチングを楽しみながら、健康づくり、仲間作りを目的に実施した。

期 間 6月21日（水）、10月18日（水）、
 平成19年3月22日（木）

参加者 48人

月 日	内容	講師
6月21日 （水）	秋川溪谷から金剛の滝 武蔵五日市－小和田橋 －沢戸橋－逆沢入口－金 剛の滝－広徳寺	上田勝 三氏 中村生 子氏
10月18日 （水）	秩父札所を巡る 大淵寺－護国観音－岩 井堂－長者屋敷跡－武甲 山登山口の碑－羊山芝桜 の丘	上田勝 三氏 中村生 子氏
平成19年 3月22日 （木）	小下沢から八王子城址へ 城山山頂－八王子城址 －北高尾尾根－小下沢野 営場	上田勝 三氏 中村生 子氏

ブラジル・ポルトガル講座

ーブレブラジル移民100年とその困難と苦勞を学び
 功績を称えるー

現在、福生市には123人78家族のブラジル国籍の方が住んでいる。日本のバブル時代から日本に來日しており、また日本における最近のブラジルに関する報道は犯罪者引渡法など政治問題が中心となっている。

ブラジルと日本の関係は100年前に日本人が初めて移民としてブラジルに渡ったときからの深い関わりが存在している。2008年にはブラジル移民100年祭を日本政府とブラジルのサンパウロで盛大に行われる予定だ。

ここであと一年後に迫った100年祭を迎えるに当たり、ブラジル移民の歴史・現地での苦勞・喜びなど先人の功績を称え、今後の日伯友好・交流のあり方を学習する。

さらにブラジルの文化・風習・言語（初心者向け）について学び、陽気といわれるブラジル人気質を探る。また参加者全員でブラジル料理を作り、参加者どうしの友好を図る。

期 間 平成19年2月17日～3月31日
 全6回 土曜日 午後2時～4時

会 場 公民館本館

参加者 延べ41人

講 師 田島 久蔵氏、田中 マリア氏、田井中
良子氏、山形・エレナ・メグミ氏

16 ミリ発声映写機操作練習会

16 ミリ発声映写機の操作技術の習得のため、市民
の要望に基づき実施した。

日 時 7月12日(水) 午後1時30分～3時

会 場 公民館本館

参加者 延べ2人

教育講演「学びの質を考える フィンランドの居行 く改革から学ぶもの」

OECD の PISA 調査の結果を受け、多くのマスコミ
が日本の子どもの学力が低下していると報じられる
中、平成 17 年に OECD 教育局指標分析課長アンドレ
ア・シュライヒャー氏が来日し講演を行い、日本の
子どもたちの学力が決して低下していないと述べて
いた。

そこで、OECD が PISA 調査を理由、そこから得ら
れた各指標からポスト工業化社会において求められる
「学び」を検討するとともに、この PISA 調査にお
いて好成績であったフィンランドがその教育改革が
目指したものを理解する契機とした。

日 時 平成 19 年 3 月 2 日 (金) 午後 7 時～9
時

会 場 公民館本館第 4・5 集会室

参加者 53 名

講 師 福田誠治氏

- 1 フィンランドの教育とは：授業時間が少ない
のに子どもの成績がよい

フィンランドの教育は底上げするけど、でき
る人は・・・？

- 2 フィンランドの子どもは：テストもないのに
自分から学んでいる
 - ・自分のために学ぶことは当然のこと、授業
の不思議
 - ・将来を見通した学力形成、自立のための教
育
 - ・フィンランドの子どもたちは PISA のテ
ストに強かった
 - ・この 10 年で世界は学力観を変えた、時代
の流れを読みきったフィンランド
- 3 PISA の測った学力とは？
 - ・ヨーロッパ諸国を中心に OECD は新しい
学力に移行
 - ・PISA はキー・キーコンピテンシーの一
部を測っているだけだが未来を見ている
- 4 フィンランドの先生は：子どもに勉強を強制
しない
 - ・教育とは詰め込むことではなく学びを支援
すること
 - ・フィンランドの先生はよい授業ができるよ
うになっている（行政の圧力が極小）
 - ・フィンランドの先生はよい授業づくりに専
念できる
 - ・親も行政も先生を尊敬し、先生に期待し、
先生のすることを援助しようとしている
- 5 フィンランドの教育行政の目的は：一人たり
とも落ちこぼしを作らない
 - ・社会的・経済的な格差を何が何でも埋めて
いく
 - ・地域の図書館の充実

身近なものでリサイクル

楽しみながらちょっとした工夫を生活に取り入れる知識を学び、自分自身の生活を見直し、環境問題を考えていくきっかけ作りを目指した。

毎回5～6人のグループに分かれてグループワークや作成を行い、最後まで和やかな雰囲気であった。気付かなければゴミにしてしまうものも、ちょっとした工夫次第では宝になることが大きな発見となった。

期 間 10月31日～11月14日 火曜日 午後

2時～4時 全3回

会 場 公民館本館 第3集会室、美術室

参加者 延べ57人

講 師 新宿リサイクル活動センター職員、活動の会

月 日	内 容
10月31日	講座ガイダンス、環境すごろくとふくろうのブローチ作り
11月7日	古布を使ったきんちゃく作り
11月14日	牛乳パックの小物入れ作り、資源マークのクイズ

ボランティア講座

主に知的障害者の活動を支えるために大事にしていきたいことを講義や話し合い、実際に活動を体験する中で学びあう機会として実施した。

期 間 5月27日(土)～7月1日(土) 全6回

土曜日は午後7時30分から9時30分

日曜日は午前10時～午後3時

会 場 公民館本館ほか

参加者 延べ45人

月日	内容	講師
5月27日(土)	私と障害者との出会い～ボランティアをはじめるにあたって	柳 正氏

6月3日(土)	親の願い～ボランティアに求めるもの～	手をつなぐ親の会 会員
6月11日(日)	にじのはらっぱでボランティア体験	
6月17日(土)	活動体験 Q&A、障害者の生活環境を考える	柳 正氏
6月25日(日)	にじのはらっぱでボランティア体験	
7月1日(土)	地域でともに暮らす～障害者の状況と福祉サービス、地域での支え	清水 勲 (市社会福祉課)

ハーブでリフレッシュ

ハーブを利用してストレス解消や日々の生活をより充実させることを目指して、生活の中で出来る癒しを学んだ。ハーブの多様な種類と利用方法を学び、ハーブの持つ癒しの効果は自分が癒されるだけではなく、家族や友人など周りの方も癒してあげたいと

いう広がりを持つことができた。

期 間 9月15日、29日、10月6日

金曜日 午後7時～8時30分 全3回

会 場 公民館本館 第1・2集会

参加者 延べ28人

講 師 ハーブサイエンスアカデミー学長
窪田利恵子氏ほか

月 日	内 容
9月15日	参加者自己紹介、ハーブの概要、育て方について
9月29日	ハーブティーについて
10月6日	ハーブティー、アロマオイルについて

福生の地方自治と財政

各自治体の地方交付税の削減が続く中、福生市の特徴を見出し今後の自治体運営に住民としての役割を担い、住民同士が支えあう関係を生み出すための学習の機会とした。また、北海道夕張市の財政破綻の原因の一つに、市民の無関心・おまかせ体質が指摘されていることもあり、単に学ぶということだけではなく、住民としての意見をはっきり言える学びを目指した。

期 間 9月26日（金）～12月5日（金）

午後7時30分～9時30分 全8回

会 場 松林会館

参加者 延べ46人

講 師 大和田一紘氏

月 日	テ マ・内 容
9月26日	地方自治の現状と課題 近隣市町村で起きている実際の問題から、自治体の役割を知る
10月3日	地方財政の仕組みの概要を知る 決算カードを理解する上で重要な、用語の解説と理解を進める
10月17日	地方財政の具体的な仕組み1 福生市の財政状況を示す「決算カード」を基に、福生市の財政収支の現状を知る
10月24日	地方財政の具体的な仕組み2 20年ほどの歳入の変化をグラフを利用して課題点を明らかにする
11月7日	地方財政の具体的な仕組み3 決算カードから歳出の様子を分析する。歳出の変化の原因をさぐり、課題を探し出す

11月21日	地方財政の具体的な仕組み4 福生市の特別会計や一部事務組合での収支についても実態を知る。
11月28日	データーの総合化 今まで作成してきたそれぞれのデーターをもとに、歳入・歳出の特徴や課題を明らかにし、福生市の特徴を見出す。
12月5日	まとめ 数々の入力済みデーターやグラフから、福生市の現状の課題、今後の展望に市民としてどのような協同（協働）・参画、あるいは社会的貢献が可能なのかを考えあう。

8回にわたった学習によって、普通の自治体と福生の違いがあきらかになってきた。歳入が、地方税、地方交付金、国庫支出金、地方債の順が一般的であるが、福生の場合は地方税、国庫支出金、地方交付税、都支出金、国有提供交付金の順に高いことがわかった。しかし、地方交付金は平成13年から減少の一途をたどり、今後は頼ることはできないだろうと思われる。今後、福生市の税収入好転したとしても、独自の財源が弱い現状から将来展望を見出すには、住民の参画による住民同士の役割を担い、支えあうという体制づくりが重要だと思われる。そのためには、住民と行政の新たなパートナーシップ型行政への転換が必要であることがわかってきた。今後は、市民自身が財政問題も含め積極的に行政に参画しないと、北海道の夕張市のようになりかねない危険性をはらんでいることを、事業で上げていく必要がある。

園芸クラブ

自宅にある盆栽や野草などを自分で手入れすることができるようにと、地域の中で園芸を通じた仲間作りのため実施した。なお、この事業は公民館事業に初めて参加するという人を意識している。

期 間 6月29日（木）、9月29日（金）10月

27日（金）平成19年2月27日（火）

午前9時30分～正午 全4回

会 場 松林分館

参加者 延べ24人

講 師 小野芳美氏

月 日	テーマ・内 容
6月29日	さつきの植え替えと、具体的な取り扱いの注意事項などを実践的に行った
9月29日	クンシランの植え替えを行う。サギソウが咲いた後の手入れを実践的に行った

10月27日	ボケの植え替えを行った
2月27日	サギソウの植え替えを行った

参加者は4回とも園芸に関心の高い人があつまった。しかし、日常的な対応については戸惑っていることが多いこともわかり、仲間の存在や相談場所があると助かるという意見が寄せられている。今後は、地域の園芸相談センターとなるような方向で自主的なサークル化をめざすよう、事業の展開を考える。

教育講座「学校・社会・環境」教育

今日の私たちの生活課題を整理していく中で、どうしても学校や地域での問題、そして地球環境問題などが大きな比重を占めていることがわかる。

そこで、一人ひとりの意識を変化することでそれぞれの課題を解決・解消に向かう道と考え、それぞれの分野について現状認識を広げる機会とした。

今年は、間口をひろげだれでもが参加できるように配慮した。

期 間 5月23日（火）～平成19年3月27日（火）

午後7時30分～9時30分 全9回

会 場 松林会館

参加者 延べ59人

月 日	テ ィ マ ・ 内 容	講 師
5月23日	「西多摩の開発の光と影」 西多摩の開発計画と、その背景にあった開発主導の考え方、そしてその影の部分である公害の歴史などを学んだ。	大和田一紘氏
6月20日	「学校教育を取り巻く新たな状況」 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正によって、学校運営協議会が設置されることになり、このことによりどのような変化が生まれるのか、参加者で話し合った。	参加者同士の自主的な話し合い
7月19日	「多摩川の自然を守る会の歴史と果たしてきた役割」 1970年以降、多摩川の自然を守る会が多摩川を中心に活動してきた歴史的な意味や具体的な成果を聞いた。	柴田隆行氏
9月20日	「西多摩の開発と圏央道」 圏央道に関する裁判の意義やその歴史的経緯などを聞いた。	大和田一紘氏

10月18日	「地域通貨とは？」 地域通貨とはどういう考え方から生まれたのか。現在の流通貨幣ではカバーできない領域があるとすれば、それは何なのかを聞いた。	関上 哲氏
11月22日	「社会教育と生涯学習－1」 社会教育と生涯学習の歴史から学び、今日、双方が成り立っている状況を学んだ。また、今後の動向として、公民館などの教育機関の果たす役割も聞いた。	佐藤 進氏
12月12日	「国際交流を考える」 福生における外国人の学習環境問題を正確に把握し、今後の対応すべき課題を整理した。	飯岡一文氏 都丸大輔氏他
1月23日	「社会教育と生涯学習－2」 戦後の公民館・社会教育実践に注目し、生み出してきたもの及びその検討課題について学んだ。	佐藤 進氏
3月27日	「社会教育と生涯学習－3」 前回の課題の部分をより詳しく学習した。	佐藤 進氏

国際交流の課題の一つに、外国人の学習環境の未整備があることがわかった。特に、行政が発行する様々な情報が、ほとんど理解されていない現状も明らかになった。この回に参加した一人が、ゆうあいふっさの外国人向けインフォメーション作りに参加することとなり、2月には広報係との協働で発行するに至った。

今後も、様々な力をもつ市民の学習の支援をすること（＝学習の機会や交流の場の提供）で新たな課題が見えてくるだろうが、住民同士の支えあいと能力に応じた役割の分担によって地域社会を創造していく市民となるだろう。そのための学習の機会と場を公民館が担うこともより明確となった。

憲法を考える

2006年12月に教育基本法の改正があり、必然的に憲法改正も論議されている。しかし、現憲法の成り立ちや意図されてきた詳細を学ぶ機会が非常に少なく、憲法に対する基本的な知識が少ないことも指摘されてきた。そこで、今回は憲法の成り立ちと憲法制定過程で大切にされてきた視点を歴史的に検証する機会として実施した。

期 間 平成19年2月6日(火)～3月13日(火)

午後7時30分～9時30分 全5回

会 場 松林会館

参加者 延べ119人

講 師 池上洋通氏

月 日	テ ー マ・内 容
2月6日	「国民主権（人民主権）と立憲主義」 主権者の位置づけと憲法が作られてきた経緯についてを確認した
2月13日	「日本国憲法と恒久平和主義」 戦力不保持の根源にある考え方とは何か、平和に対する思想の世界的な歩みを学び、平和思想の正しさや戦力や武力の基本的な論点を明らかにした
2月27日	「日本国憲法と基本的人権」 基本的人権とは何か、そしてどのような経緯で形成されてきたのか。今日の格差社会を広げる社会政策と基本的人権との関係を明らかにした
3月6日	「議会制民主主義と議院内閣制」 議会制民主主義の発足の歴史を振り返り、今日の三権分立の原則的な観点などを学んだ
3月13日	「地方自治の原則と現実」 現日本国憲法は明治憲法の改正憲法であるが、その中でも地方自治が新たに書き加えられている。地方自治制度の積極的な面、課題などを明らかにした

正直なところ、予想以上の多くの参加者で戸惑った。しかし、参加者の熱心な姿勢と毎回の講師の話がかみ合い、「住民が学ぶということの大切さがわかった」「憲法って、遠い存在ではないんだ」という声が届けられた。

毎回、大量な資料を基に細やかな説明がされ、理解が進んだ。また、参加者から職員に関連法令など新たな資料の要求もされた。その意味では、職員が市民の学習を支援する位置づけであることもわかったのではないかと思います。

中西悟堂の足跡とふっさ

(財)日本野鳥の会を創設した中西悟堂氏は、昭和19年当時に福生で生活し市内の雑木林の中に「野鳥村」を作ろうとしていた。しかし、戦時中のことであり、諸般の事情で実現することはできなかった。

今回は、約60年前に福生で出会った人やその後西多摩での活動を共にした人から、中西悟堂氏が福生や近隣でどのような営みをしていたのか、その足跡を知る機会とした。

期 間 5月9日(火)～平成19年3月14日(水)

午後7時30分～9時30分 全6回

会 場 松林会館

参加者 延べ140人

月 日	テ ー マ・内 容	講 師
5月9日	「中西悟堂と福生野鳥村」 昭和19年当時に考えられていた「野鳥村」とは、どのような構想だったのか、そして、福生が選ばれた理由などを聞いた。	中村 滝男氏

7月11日	「中西八重子夫人を語る」 戦後、中西八重子さんが福生一中で教員をされていた当時の生徒など数人に、八重子さんの思い出を語ってもらった。	村野 尚志氏 他
9月12日	「多摩の植物と中西悟堂」 多摩の植物にも関心を持っていたことから、菱山さんと高尾山での出会い以降、具体的な交流を語ってもらった。	菱山 忠三郎氏
11月14日	「西多摩時代と中西悟堂」 戦後直後から昭和29年まで西多摩に生活していた間に記された書籍類を中心に、どのような活動をしていたのかを振り返った。	西村 眞一氏
1月16日	「中西悟堂と野鳥」 現日本野鳥の会専務理事から、野鳥の会で行った様々な取り組みの紹介や、具体的な写真などから野鳥の実態を学んだ。	鈴木 君子氏
3月14日	「奥多摩の山々と中西悟堂」 福生とあきる野市で暮らした約10年の間に奥多摩の山々や滝山や草花丘陵での記録などを中心に、足跡を確認した。	高萩 至氏

昭和19年当時に福生で生活し直接中西悟堂と会話をした人、また、その後中西悟堂と一緒に観察会に参加した人や、いろいろなことで関わったという方が多く参加した。また、長女の小谷ハルノさんが参加してくれたこともあり、かなり内容的には面白い話し合いになった。

また、今回のことがきっかけとなり、夢と消えた「野鳥村」の位置が確認されたり、今後予定されている中西悟堂の遺品の寄贈ということに、新たな受け入れの想いが浮上ってきて、福生にとっての意味づけが現実化してきている。

市民の想いと行政の果たすべき役割の協働によって、今後の中身が作られていくきっかけとなったのではないかと思います。

巣箱作り

福生市の鳥シジュウカラが利用する巣箱とえさ台をつくり、愛鳥の思想を広めるとともに、野鳥と人間との関係を学ぶきっかけとする。

日 時 12月17日(日)

午前10時～正午

会 場 松林分館

参加者 10人

3家族と2人が参加し、全員が巣箱とえさ台を作成し持ち帰った。参加者から、作ったえさ台にはシジュウカラやメジロなどがやってきている、シジュウカラが巣箱の入り口を広げようとしている、などの報告を受けている。また、家族全員で楽しみにしているという声も聞いている。

平和を考える日

小中学生を抱える父母にとって、平和の意味を伝えることはそうたやすいことではない。第二次世界大戦をはじめ今日世界各国で起きている直接の戦闘や空襲を知らない状況では、映像や写真だけの説明では伝わりにくい実際である。

今回は、自身が戦争を体験した方から、絵本の朗読、空襲体験を語っていただき、生の声で伝える機会として実施した。

日 時 8月12日(土)

午後1時～午後4時30分

会 場 松林分館

参加者 19人

月 日	テ ー マ・内 容	講 師
8月12日	・戦争の悲惨さを描いた絵本や短編小説の朗読 ・東京大空襲で被害を受けた体験談を語る ・ドイツ平和村でのボランティア活動の体験談	来住野純江氏 野谷とし子氏 秋山典子氏

今回は子どもを対象として実施したが、ほぼあらゆる世代の方が参加した。また、童謡を歌うコーラスグループも参加してくれ、休憩時間に「世界中の子どもたちが」という歌をピアノの伴奏によって、みんなで歌うことができた。

生の言葉で語られる体験は、とても大きな影響があることがわかった。東京大空襲やドイツでの子どもたちの傷ついた様子など、私たちに本当の大切なものの存在を明らかにしてくれた。次回はもう少し宣伝を強化し、多くの方に参加してもらいたい。

点字をやってみよう

点字をやってみることで点字に親しみをもち、視覚障がい者の生活を考える機会とする。

期 間 6月22日(木)～7月6日(木)

午後1時30分～3時30分

全3回

会 場 松林分館

参加者 延べ17人

講 師 乙津由紀子氏(点字サークルはたる)
 及川清志氏、及川タカ氏

月 日	内 容
6月22日(木)	点字の名刺を作ってみよう 視覚障がいをお持ちの方のお話
6月29日(木)	点字のカードを作ってみよう 視覚障がいをお持ちの方のお話

7月6日 (木)	点字の絵本を作ってみよう 視覚障がいをお持ちの方のお話
-------------	--------------------------------

初心者似顔絵教室

似顔絵を通してコミュニケーションを取れる力を
引き出すことを目的とした。

期 間 5月25日(木)～7月27日(木)

午前10時～正午 全10回

会 場 松林分館

参加者 延べ85人

講 師 高橋光子氏

月 日	内 容
5月 25日	描き方の説明
6月 1日	実際に簡単なものを描いてみる
6月 8日	実際のモデルをみて描く、講評①
6月 15日	実際のモデルをみて描く、講評②
6月 22日	実際のモデルをみて描く、講評③
6月 29日	実際のモデルをみて描く、講評④
7月 6日	実際のモデルをみて描く、講評⑤
7月 13日	実際のモデルをみて描く、講評⑥
7月 20日	実際のモデルをみて描く、講評⑦
7月 27日	公募したモデルを描く

初心者「コサージュ'06」

個人的な作品の完成だけでなく、物作りを通じ、
世代の違う大人と関わり、近隣を含め講座を通じた
人間関係を作る機会とする。作品の完成後、実際に

使用し、地域活動の一つとして活躍の場を広げる。

期 間 11月9日(木)～平成19年1月25日(木)

午前9時30分～午前11時30分 全8回

会 場 松林分館

参加者 延べ124人

講 師 村上理絵氏

月 日	内 容
11月9日	自己紹介 プログラム説明 基本的な用語の説明
11月16日	前回の続き 基本を学ぶ
11月30日	組み合わせを学ぶ 2つ目の作品に取り掛かる
12月7日	2個目組み立て。仕上げ。次回の説明
12月14日	3個目型取り、裁断。仕上げ。次回の説明
12月21日	4個目パーツ作成。組み立て。次回の説明
1月18日	4作品パーツ作成。組み立て。
1月25日	全体の発表・品評会。

初心者水彩画教室「我が町福生」

水彩画を描く事を通して、自分の住んでいる町を
改めて知る機会とする。長年住み、通り過ぎるだけ
の場所がじっくり見ると、新たな発見を見つける事
が出来る。水彩画の作品を通して、コミュニケーシ
ョンし、地域と関わる第一歩、人間関係を作る機会
とする。

期 間 12月2日(土)～平成19年2月24日(土)

午後2時～午後4時 全6回

会 場 松林分館 市内野外など

参加者 延べ56人

講 師 藤田俊哉氏

月 日	内 容
12月2日	自己紹介 プログラム説明 水彩道具の説明 基本説明 武蔵野台東公園にて
12月16日	田村酒造にて 鉛筆画下絵

1月13日	田村酒造にて 水彩画完成
1月27日	清岩院にて 鉛筆画下絵
2月10日	清岩院にて 水彩画完成
2月24日	会館内にて 16号沿い風景写真をみて水彩画

熊川分水を考える

市民の手による新しい地域づくりの時代が始まる中、分水の研究を深めつつ、改めて地域の歩みを知り、広くまちづくりへの関心となるよう歴史・風土を再発見し、地域参加の礎となるよう実施した。

期 間 6月10日(土)～

平成19年3月25日(日) 全3回

会 場 白梅分館

参加者 延べ50人

月 日	内 容	備 考
6月10日 (土) 午前10時～ 正午	熊川分水を歩こう 現状を観察し貴重な遺産を後世に残そう	熊川分水に親しむ会
1月21日 (日) 午後2時～3 時30分	スライドと講演 「福生の田用水」 熊川地区住民にとって大切だった田用水の跡を振り返ってみよう	熊川分水に親しむ会 世話人会 田中 一実氏
3月25日 (日) 午前9時30 分～正午	立川段丘のがけ沿いを歩いてみよう 皆で水とみどりの保全を考えよう	NPO法人地域自然情報ネットワーク副理事長 増澤 直氏

熊川分水に親しむ会と白梅分館との共同企画により開催し、地域の歴史学習からまちづくりと環境保全学習を深める機会とした。

地域防災講座

いつ起こるかわからない自然災害に、いざという時の行動や心構えは必要である。

あわせて適切な行動が取れるよう講習会で体験して、安全に避難場所まで避難できるよう身につけ、また、福生市の防災計画を知り家庭でできる防災対策を家族で話し合い、被害を最小限に食い止める基本的な知識を習得する機会とした。

期 間 9月29日(金)～11月10日(金)

全4回

会 場 白梅分館及び立川防災館

参加者 延べ92人

月 日	内 容	備 考
9月29日 (金) 午前10時～ 正午	緊急時に役立つ体験学習 AED操作・応急手当等講習	講師 福生消防署 熊川出張所 署員
10月13日 (金) 午前10時～ 正午	家庭でできる防災対策 地震に対する基本的な知識など	講師 福生消防署 熊川出張所 署員
10月27日 (金) 午前10時～ 正午	福生市の防災計画 自主防災組織、簡易トイレの組立	講師 福生市総務課 防災係 職員
11月10日 (金) 午前10時～ 正午	立川防災館 災害時に役立つ体験学習	講師 立川都民防災教育センター 職員

苔玉づくり講座

ガーデニングブームの広がりによって、家庭や地域に花と緑の調和が見られ、心身ともに癒しとなっている。植える植物によって季節感を出しているが、同じ植物でも植える方法や使い方で季節感を味わうことができることが意外と知られていない。観葉植物を苔玉に植える方法を学び夏の季節感を味わうことと、公民館での仲間づくりを目的として実施した。

日 時 6月24日(土) 午後2時～4時

会 場 白梅分館

参加者 25 人
講 師 沢崎直子氏

大人のための食育講座

急激な都市化の中で、地域のつながりが薄れて久しい三多摩地域において、食や農を通じた体験を通じて世代がつながる講座を実施した。更に福生市内にわずかに残っているはけを緑地保全しながら、農業保全を行う足がかりをつくった。

期 間 9月～平成19年3月
栽培野菜や天候に合わせて 全6回
会 場 原ヶ谷戸村野農場
参加者 延べ30人
講 師 村野弥太郎氏、萩原捷氏

月 日	テーマ・内容	講師
9月	秋冬野菜の栽培	村野弥太郎氏
10月	秋冬野菜の栽培管理	村野弥太郎氏
11月	秋冬野菜の栽培管理及び収穫	村野弥太郎氏
12月	秋冬野菜の栽培管理	萩原捷氏
2月	秋冬野菜の栽培管理、春野菜の栽培準備	萩原捷氏
3月	春野菜の栽培	萩原捷氏

食と農の教育講座

地域づくりを食と農の実践をとおして現代的に位置づけていくために、講義形式の講座を実施した。今回は都市住民と農家との関係を見出すための援農に注目して、その実践者を招いて報告後、意見交換をおこなった。

日 時 10月25日 (水)
会 場 白梅分館
参加者 5人
講 師 萩原捷氏

白梅俳句講座

文化・芸術活動支援としての俳句講座を実施するにあたり、市民参画と参画の継続性を念頭に講座準備会から市民を公募し、講座を実施した。講座は季題を設定し、5句ずつ俳句を持ち寄り、句会を実施した。更に2回吟行を実施し、俳句講座の成果の一つとして俳句集を作成した。

期 間 9月6日～平成19年1月31日 全10回
会 場 白梅分館
参加者 延べ100人
講 師 中野傳氏
支 援 白梅俳句講座準備会(中村生子氏、児玉琴代氏、副田貴美子氏、棚橋紀美子氏)

パソコン講座

パソコンが家にあるのにうまく使えないでいる方を対象に、基本操作を習得し、便利な機能を知ることによりパソコンを身近なものとして捉え、地域の行事等でも活用できるよう、そのきっかけづくりを目的として実施した。

期 間 7月9日(日)～7月17日(月)
午前9時～正午 全3回
会 場 東京都立多摩工業高校 パソコン室
参加者 延べ85人
講 師 提箸 学氏 他7名
(東京都立多摩工業高校教員)

月 日	テーマ・内容	講師
7 月 9 日	ワード編 基本操作と便利な機能を学び簡単な文書の作成	清水政義氏
7 月 16 日	エクセル編 表計算と関数の使い方、グラフの作成	佐久間弘氏
7 月 17 日	インターネット編 ホームページの活用法などを学ぶ	提箸 学氏

英会話講座

外国人に接する機会が多いという当市の立地条件を生かして、簡単な日常会話を習得し、それぞれの文化や生活習慣の違いを知ることによりお互いに理解を深め合い身近なところから国際交流を図ることを目的に実施した。

講座終了後に「JEC」という自主サークルとして活動を始めている。

期 間 10月4日(水)～12月6日(水)

全10回

会 場 白梅分館他

参加者 延べ171人

講 師 Kathy Hafeli (K. H),
Lisa MacWilliam (L. M),
Cara Loser (C. L),
山田スミ江

月 日	テーマ・内容	講師
10 月 4 日	自己紹介 講師作成のテキストを使って会話の学習	K. H

10 月 11 日	横田基地内の保育所と教会を見学し各所で説明を受ける 将校クラブで昼食 他の講師2名も引率に加わる	K. H L. M C. L
10 月 18 日	自己紹介 講師作成のテキストを使って英文法の学習	L. M
10 月 25 日	講師作成のテキストを使って英文法の学習	L. M
11 月 1 日	自己紹介 講師作成のテキストを使って日常生活の言い回し等を学習	C. L
11 月 8 日	福庵の茶席でお茶を楽しみながら、日本古来の文化を体験する福生市茶道連盟所属の講師によるお点前についての説明の英訳	C. L K. H 山田 スミ 江
11 月 15 日	講師作成のテキストを使って、物の名前、場所の呼び方など日常生活のさまざまな場面を想定して学習	K. H
11 月 22 日	感謝祭についての説明 講師作成のテキストを使って、反対語などの学習	K. H
11 月 29 日	単語を使って短文作り 文章の中のまちがい探し	L. M
12 月 6 日	横田基地のLisa宅を訪問し、アメリカ式クリスマス体験 参加者の楽器演奏、合奏など交流を図る Kathyも同行	L. M

ハングル講座

近くて遠い国であった韓国と日本の距離が、民間レベルで少しずつではあるが縮まってきている状況にある。コミュニケーションの媒体である言葉を学び、その国の文化や生活習慣などを知ることからより一層交流を深めていくことができる。国際交流時代に相応しいコミュニケーション能力を養うことを目的として実施した。

講座終了後に「アリラン」という自主サークルとして活動を始めている。

期 間 9月13日(水)～11月29日(水)

午後7時～午後9時 全11回

会 場 白梅分館

参加者 延べ160人

講 師 元 鍾彬氏

月 日	テーマ・内容
9月13日	基本のハングル表を覚えよう 読み・書き
9月20日	〃
9月27日	〃
10月4日	「初めまして」「これは何ですか？」 自己紹介と物の名前を覚えよう
10月11日	「ここはどこですか?」「どこに行きますか?」
10月18日	「今日の天気はどうですか?」 雨・雪・暑い・寒いなどの気候を覚えよう
10月24日	「今日は何曜日ですか?」「どこから来ましたか?」月日と曜日を覚えよう
10月31日	「私の部屋は3階にあります」「このりんごは1個いくらですか?」 数字を覚えよう
11月15日	「そちらキム先生のお宅ですか?」 電話で話そう
11月22日	「昨日は何をしましたか?」 文法を覚えよう
11月29日	まとめ

オ 障害者

青年学級「にじのはらっぱ」

義務教育修了後（養護学校高等部在学中を除く）の知的障害者を対象に、社会の中で自立して生活していく力や集団活動を通して基礎的な生活習慣や技術を学びあい、また健常者、障害者の別なくともに地域で生きる市民としての仲間づくりと学習の場として実施した。

期 間 5月14日（日）～平成19年3月11日（日）

全22回 原則として午前10時～午後3時

会 場 公民館本館ほか

参加者 延べ464人

月日	内容	場所
5月14日	開級式、活動計画話し合い	公民館
5月21日	四市交流ハイキング（担当 青梅市）	梅の公園
6月11日	調理、映画鑑賞（グループ活動①）	公民館、昭島市
6月25日	東京競馬場見学、調理（グループ活動②）	府中市、公民館
7月9日	七夕飾り作成、本館まつりで楽しもう	公民館他
7月23日	七夕飾り作成、流し踊り練習	公民館
8月4日	福生七夕まつり民謡パレード参加	福生市内
8月27日	調理&合宿打合せ（プールは天候不順のため中止）	公民館
9月2日	合宿（～3日）東武ワールドスクエア、千本松牧場	栃木県那須塩原
9月17日	調理（バーベキューは天候不順のため中止）	公民館
10月8日	にじはらエコ・ウォーク、スポーツ大会準備	市内、公民館
10月29日	四市交流スポーツ大会（担当 福生市）	福生3小体育館
11月5日	ロードレース参加、市内でランチ、文化祭見学	市営競技場他
11月19日	小さな旅打合せ、映画鑑賞（軽スポーツ&とん汁会は天候不順のため参加見合わせ）	公民館
12月10日	小さな旅（富士山レーダードーム館他）	山梨県忍野村他

月 日	内 容	場 所
12月17日	調理、クリスマスカラオケ大会	公民館、市内
1月7日	新年会（お茶会、書初め、室内ゲーム）	福庵、公民館
1月21日	学級生企画準備、どんぐり公園散策	公民館、市内
2月4日	学級生企画「東京タワー」	港区
2月18日	四市交流弁論大会（担当 あきる野市）	まほろばホール
2月25日	閉級式準備、ボウリング大会	公民館、市内
3月11日	閉級式、来年度の活動にむけて話し合い	公民館

- * 網掛け部分のプログラムは青梅市、福生市、羽村市、あきる野市の四市交流事業。
- * 毎回、当日の準備と反省及び次回の準備のためスタッフボランティア打ち合わせを実施、またスタッフミーティングを随時実施した。
- * にじの会（保護者会）を3回実施した。
- * 福生七夕まつり一般参加団体竹飾りに応募し、8月3日（木）～6日（日）に銀座通り伊勢屋付近に七夕飾りを掲出した。

カ 高齢者（寿市民ひろば）

語らいのひろば

健康づくりと仲間づくりをテーマに、毎日の生活に欠かせない身近な食事のことや、介護を受けないための予防対策また救命救急などを楽しく学ぶことを目指して実施した。

期 間 9月6日～11月29日 水曜日
午前10時～正午、午後2時～4時 全7回
会 場 公民館本館 第1・2集会室、第4・5集会室
参加者 延べ75人
講 師 大村直己氏（食育コーディネーター）、鈴木富士子氏（調理師）、内田貴士氏（理学療法士）、福生消防署職員ほか

月 日	内 容
9月6日	オリエンテーション、食の学習会
9月20日	食の学習会
10月11日	調理実習
10月25日	視察研修
11月8日	介護予防学習会
11月15日	救急救命学習会
11月29日	介護予防学習会

童謡のひろば

合唱を通じて高齢者の仲間作り・健康作りを目指した。また、童謡や唱歌を歌うことで若い頃を思い出し、人生を振り返りながらこれからの日々をより充実することを目的として実施した。

期 間 9月14日～12月2日 木曜日
午前10時～正午 全8回
会 場 公民館本館 音楽室
参加者 延べ205人
講 師 小田切洋子氏（若葉コーラス指導）

月 日	内 容
9月14日	オリエンテーション、合唱練習
9月28日 ～ 11月30日	合唱の練習 練習曲目：緑のそよ風、浜千鳥、赤とんぼ、浜辺の歌、小さい秋見つけた、ほか
12月2日	「人生うたい語りのつどい」で発表

木彫りのカモを作ろう

高齢の方を対象に3コースの事業を行うこととしている。手を使ってものを作り出す、健康と仲間作り、そして自分史を書くことで今後の仲間関係を考えるコースである。

この事業は、第一番目の手を使ってものを作り出すことで、完成したものを実感できる充実感や仲間との協力などを体験する場として設定した。今年は、ヤマガラを作成した。

期 間 6月7日（水）～7月26日（水）
午前10時～正午 全8回
会 場 松林分館
参加者 延べ89人
講 師 水上清一氏

月 日	テ ー マ・内 容
6月7日	ヤマガラを彫ってみよう！ 大まかにカットされた木片から、ヤマガラの図面を木に写し、大まかな形に掘り出す
6月14日	ヤマガラの顔を完成させよう ヤマガラの首から上の部分を完成させる。小刀や彫刻刀を使って、細やかな表情を掘り出す
6月21日	ヤマガラの体を掘り出す 大まかに掘り出してあったものから、細部を掘り出す
7月5日	ヤマガラの体を完成する 細部の作りを進める。特に羽が交差する部分に注意をして彫る

7月12日	ヤマガラの羽を完成させる 羽を掘り出した後、サンドペーパー を利用して全体をきれいに削る
7月19日	彩色をする 下地を薄く塗り、乾いた後に頭部から 塗りだす
7月26日	彩色の完成 腹や背中を含め、色合いを見ながら 塗り、足と爪も塗って完成

出来上がりには各自に差があったが、それでも満足していることがわかった。最初はものづくりに夢中となっていたが、最終回にはお互いがアドバイスして手助けなどをして関係が深まった。その後、松林だけでもなんでも展に出品（参加）し、参加者各自が注目されたということに関心が広がっているようだ。

自分史を書く

高齢期の方を対象に、今日の自分を形成している要因を見出すために、実験的な取り組みとした。具体的には、自分史を書くことから幼少期の食生活、周囲の自然環境や仲間などが、今日の“自分”を形成するための重要な体験の積み重ねではないか、また、職業選択などの大きな判断基準となっていないか。そして、今日までの人間関係史をみることで、その成り立ちを理解する機会とした。

期 間 平成19年1月31日(水)～3月21日(水)

午後1時30分～3時30分 全6回

会 場 松林分館

参加者 延べ23人

月 日	テ ー マ・内 容
1月31日	オリエンテーション 自己紹介、今回の事業の内容紹介と各回の紹介、各自の幼少期の思い出を語り合う
2月7日	自分史の経過を作図する 個々人が今までにどのような人に出会い影響を受けてきたのか、「人間関係図」を描いてみる。また、その前段で各自のライフヒストリーを書いてみる
2月14日	自分史の重要な項目を抽出1 今日の自分を形成していると思われる重要な要素、たとえば家族や育った自然環境や仲間など、自分がこだわっているものを見出した
2月28日	自分史の重要な項目を抽出2 青年期以降の自分の行動に大きな影響を与えたと思われる事例、たとえば、地球環境の変化に関するTV番組、身近な自然の喪失感などの影響がいつごろからどのような形となって現れているのかを見出した
3月14日	各自の文章の検討1 各自の文章が参加者同士が少しずつ発表しあう
3月21日	各自の文章の検討2 前回に続き、各自が書いている文章の発表を行う。その後、今後発行行程などを話し合う

昨年同様、ワークショップ形式とSLE (Significant Life Experience=環境行動に至る重要な体験) 調査法を利用して実施した。今回の参加者は全員が各自のことを話したい・聞いてもらいたい、そして記録して残しておきたいという意欲があふれていた。参加者の中に“癒し空間”と表現された方がいたが、この調査手法を利用することで、今までの自分を語りきれない方や自分の過去を整理しきれない方々にとって、重要なヒントが見出された事業となった。

生きがいと健康をつくろう

高齢期を有意義に過ごすためには、体の健康と仲間の必要性が高いことは十分予想できる。個人では散歩などで健康維持は可能であるが、案外仲間を獲得する手段は限られている。今回は、健康づくりと仲間づくりに焦点を絞って実施した。

期 間 9月28日(水)～12月7日(水)

午前9時30分～午前11時30分

屋外に出かけたときは、各回とも異なる

全9回

会 場 松林会館と市内公園、多摩川、狭山丘陵、滝山丘陵、高尾山

参加者 延べ42人

月 日	テ ー マ・内 容	講 師
9月28日	体調のチェックとスケジュールの確認、自己紹介 各自の体調のチェック、高齢期特有の症状への対応を学び、今後のスケジュールの確認をした	若松宏行氏 大石田瑠璃子氏 上田 大志氏
10月12日	玉川上水とふっさ 羽村堰から玉川上水沿いを福生まで歩く。途中、信玄堤や「野鳥村」 構想の地点などを見学	上田 大志氏
10月19日	多摩川を歩く 多摩川のカワラノギクの観察。その他に、多摩川の植物を見て歩く	上田 大志氏
10月26日	滝山丘陵を歩く 滝山丘陵の植物を見て歩くほか、丘陵歩きの注意点などを現場で学ぶ	上田 大志氏
11月2日	青梅永山丘陵を歩く 貴重な自然が残っている、永山丘陵の自然の様子を見て歩く	上田 大志氏
11月17日	狭山丘陵を歩く 狭山丘陵の自然の様子をみながら、古民家園・六道山を観察し、農園 でみかん狩りを体験する	上田 大志氏
11月29日	高尾山を歩く 高尾山の植物を見ながら、圏央道工事の進む様子なども見て歩き、開 発と保護の実態をみる	上田 大志氏
12月7日	圏央道と中央高速道路のジャンクション建設が進む現状や、開発と保 護の問題などを語りながら高尾山の植物などを観察して歩いた	上田 大志氏
12月14日	再測定と今回の教室をふりかえって 各自の体調・状況の変化を測定。仲間との交流の楽しさ、知らない場 所へ行け新たな発見の喜びなどが語られた	若松宏行氏 大石田瑠璃子氏 上田 大志氏

今回参加された方々は、一人では出かけられないが仲間がいれば出かけたいたいという声があった。それとともに、身近な多摩川や丘陵での観察やウォーキングなどに関心の高いことがわかった。

仲間との出会う機会を多く用意する必要性が高いと感じた。

白梅熟年ひろば

高齢人口増の中、元気に自立(自律)的に生き抜くことを高齢者自身が求めている。高齢期を楽しく元気に生きる福生を目指し、仲間づくり、生きがいくくり、健康増進に向けて実施した。

期 間 11月17日(金)～

平成19年1月12日(金) 全4回

会 場 白梅分館、他

参加者 延べ138人

月 日	内 容	備 考
11月17日 (金) 午前10時～正午	オリエンテーション (自己紹介) 適度な運動・体操で 健康な日常生活を!	体育館トレーナー 杉 渕 典子氏
12月1日 "	くすりの話 薬って何? 正しく 飲んでいますか!	薬剤師 國 實 秀 和氏
12月15日 "	コーラスで楽しく元 気に! 懐かしい、思い出の 曲を口ずさむ	音楽指導者 山下やよい氏
1月12日 "(9時～17時)	視察研修バスツアー 歴史のある街を訪 ねてみよう	足利学校 佐野厄除け 大師

今回、万一地震が発生した場合、町会や自治会を超えた人間関係を持ち、また長年体験し蓄積された知識・経験を持つ高齢者の行動が必要であると考え、成人・一般を対象にした「地域防災講座」に白梅熟年ひろばも参加し、体験学習の機会を図った。

白梅シニア合唱教室

人生80年時代、五感を働かせ楽しく元気に生きることが至上の喜び。日常やらねばならない事の上にもやりたい事にも取り組み、人と人との間で自立的に生きる関係と場を持つ中で、高齢期の自己実現を図る機会とした。

期 間 9月5日(火)～12月2日(日) 全8

回

場 所 白梅分館、市民会館小ホール

参加者 延べ290人

月 日	内 容	備 考
9月5日 (火)	内容説明、発声、歌唱 練習	指導 合唱 指揮 (ピアノ) 山下やよい 氏
9月26日 "	思い出の歌の合唱練 習	
10月17日 "	懐かしい歌の合唱練 習	
11月12日 (日)	市民文化祭出演(市民 会館)	
11月14日 (火)	うたい語りの集いに 向けて練習	
11月21日 "	"	
11月28日 "	"	市民会館小 ホール
12月2日 (日)	人生うたい語りの集 い出演	

「人生にささやかな舞台を!」を指標に進め、このほか白梅まつり演示のひろば参加等、音楽を通して同世代・異世代と地域の交流が進められた。

初心者デジタル画像編集講座

パソコンが普及し、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込み楽しんでいる市民が多く見受けられるようになったが、処理の仕方が思うようにできないとの声があった。今回は、参加者が撮った写真をパソコンの画面上で、文字入力や画像合成することによりひとあじ違う画像づくりができることを基本とした講座を開催した。

期 間 第1回 9月5日～27日

全4回

第2回 平成19年1月11日～2月

9日 全4回

午前10時～正午

会 場 白梅分館

参加者 延べ56人

月 日	内 容	備 考
9月 5 日 (火)	画像編集の概略、ソフトインソール	グラフィックデザイナー 森田文明 氏・ アシスタント 宮尾江利子 氏
1月 11 日 (木)	画像の大きさ(ピクセル)、解像度等	
9月 13 日 (水)	選択ツール、色相・彩度・明度	
1月 19 日 (金)	拡大・縮小、文字入力等	
9月 22 日 (金)	画像の合成、レイヤー	
1月 25 日 (木)	フィルター	
9月 27 日 (水)	作品づくり	
2月 9 日 (金)		

使用できるパソコンが少ないため、はがき募集で年齢制限(60歳以上)したが、申込者が多く抽選により2回に分け実施した。

(2) 行事等

ア 女性(一般)

第15回男女共同参画フォーラム

父親が育児に積極的に関わることができるように社会的にも制度が充実してきたが、本人や周りの意識が向上していないのが現状である。

このフォーラムでは大切な命を育み、家庭生活を営むことは男と女の共同作業であることを確認するとともに、男も女も同じ人間であることを認め合うきっかけづくりを目指し、また、親子を取り巻く人々のふれあいと絆作りがより豊かな生活の広がり結びつくことを知ることを目的として実施した。

シンポジストには地域や子育てに関わっている方に来ていただき、出産・育児現場の話しを通じて絆の大切さについて確認した。閉会後の個別質問でも多くの方が残り、より近い距離で話をする事ができた。

日 時 10月28日 土曜日

午前9時50分～午後0

時30分

会 場 公民館本館 第4・5

集会室

テーマ 「親子の絆見つめ直してみませんか？」

参 加 者 45人

シンポジスト 森田玲子氏(森田助産
院院長)、角田四郎氏

(ノンフィクションライ
ター)、福生市職員2人

司 会 進 行 秋山典子氏(福生市輝
き市民サポートセンタ
ー職員)

プ ロ グ ラ ム

9:50 開演・シンポジウム

11:40 休憩

11:50 質疑応答

12:30 質疑応答終了・閉会後関心のあ
る方は個別質問

13:00 個別質問終了

イ 成人(一般)

第25回公民館のつどい

出会いの中から市民の交流を深め、公民館で活動する意味を確かめ合いながら、地域の様々な課題などをテーマに分科会・全体会・交流会を設け、市民が企画・運営していくなかで、公民館のつどいを実施した。

日 時 11月26日(日) 午後12時30分～5時

会 場 公民館本館

テ ー マ 「住みやすい 地域をつくろう つどいから」

参 加 者 延193人

プログラム 分科会 午前10時～正午

全体会 午後1時～3時

交流会 午後3時10分～4時30分

分科会・全体会・交流会

	テ ー マ	企画・運営	助言者 話題提供者	参加 者数	会 場
第1 分科会	玉川上水遊歩道を考 えよう	公民館本館サークル 玉川上水遊歩道を考 える会	西村邦康氏、柴崎新氏、小 峰勝氏、原島貞夫氏、清水 敬介氏、市川重一氏	33人	公民館本館第 4・5集会室
第2 分科会	自分らしく生きる～ 子育てとともに	松林分館サークル サークルシュガー	藤村美津氏（エリザベス・ サンダースホーム園長） 濱原幸恵氏（サークルシュ ガー）	16人	公民館 本館音楽室
第3 分科会	五日市憲法に学ぶ・憲 法ってなあに？	松林分館サークル 福生市民九条の会	江井秀雄氏（民衆思想史研 究所代表）	43人	公民館本館第 3集会室
第4 分科会	どうなる地球温暖化 と福生の暮らし	公民館職員	小澤祥司氏（アースキッズ 代表）	19人	公民館本館美 術室
全体会	あなたの・わたしの・ 公民館のこと考えて みませんか？	公民館運営審議会	井藤鐵男氏（元国立市公民 館運営審議会委員）	46人	公民館本館第 4・5集会室
交流会	全体会の討議をもとにテーマを設定し、グループ別に話し合いを行った。 1グループ 公民館を支えるために今市民がやることは何か？ 2グループ 生活環境をよくする公民館活動について 3グループ サークル活動のあり方、ひろげ方			36人	公民館本館第 4・5集会室

第8回本館まつり

日頃から公民館本館で活動しているサークルの成
果を発表する機会と、他のサークルの人たちとの親
睦や交流を図ることを目的に行われた。二日間にわ
たる利用者の参加で、演示、展示、模擬店、子ども
部門とも盛況で、いろいろなサークル同志の交流や、
また利用者と職員との関係も深まってきている。

期 間 7月8日（土）・9日（日）

会 場 公民館本館

テーマ さわやかな 笑顔ひろがる

本館まつり

参加者 延べ950人

内 容 7月8日（土）午前10時～午後4時

オープニング（挨拶）、福生吹奏楽団

◆演示部門（草笛、コーラ

ス、カラオケ、児童合

唱、日本舞踊、リコー

ダー、フラダンス、ウ

クレレ）

◆展示部門（パッチワーク書道、

デコパージュ、絵手紙、イラ

ストマップおよびフラワー

バスケット）

◆模擬店部門（焼きそば、豚汁、

フランクフルト、肉まん、コ

ーヒー、マドレーヌ、ポップ

コーン）

7月9日（日）午前11時～午後4時

◆演示部門（社交ダンス、三味線、

リコーダー、マジック、吹奏

楽、草笛、ひょっこり踊り、

ウクレレ、カラオケ、演劇）

◆展示部門（前日と同様）

◆模擬店部門（ ）

◆子ども遊び部門（ベーゴマ、草

笛遊び、セーフティーキッ

ズ）

エンディング（福生音頭など）

第24回福生市民音楽祭

「みどりのハーモニー2006～つたえよう心のうた、
つなげよう未来へ～」

子どもから大人まで市内の音楽愛好者が集い、みんなで作くりあげみんなで楽しむ市民音楽祭。今年も市民のコーラスグループの歌声や、リコーダー、草笛、また吹奏楽団やジャズオーケストラによる曲が流れてきた。

今年は、特に第3部で行われた公民館主催講座の「福生の空に響けみんなの大合唱」の参加者による大合唱が、あたかも福生の空に響きわたるかのよう
に多くの人たちに感動を与えた。まさに市民が一緒
になってみんなで作り上げ楽しんだ市民音楽祭であ
った。

日 時 6月18日(日) 午後12時30

分開演

会 場 市民会館大ホール

入場者 850人

内 容 第1部 器楽グループによる演奏発表
第2部 コーラスグループによる合唱発
第3部 子どもと大人と一緒に歌う音楽
講座参加者による合唱発表

出 演 福生高校吹奏楽部、福生吹奏楽団、ハイ
ブリッド・ジャズオーケストラ、福生合
唱団フレンズ、コーラス虹、福生混声コ
ーラス、コール白梅、ふっさ草笛サーク
ル、コールコスモス、コール野ばら、福
生市民コーラス、コールそよ風、子ども
と大人と一緒に歌う音楽講座参加者

主 催 福生市民音楽愛好者連絡会(音連)・福生
市公民館

平和パネル展「大空襲後の東京」

今年も平和講演と関連してパネル展を実施した。
今から62年前の東京の惨状を写真パネルで展示し
た。

話だけでは伝えにくい当時の様子も、残酷にも克
明に、見る人に恐ろしいまでに伝えていく貴重な当
時の写真や遺品集。目を覆いたくなるような悲惨な
写真や、焼夷弾や防空頭巾など見ながら、多くの見
学者たちが、戦争の愚かさ、悲惨さを肌に刻んだの
ではないだろうか。

今回から、会場がリニューアル工事され今まであ
ったロビーに展示スペースとして新たに設置された。
そのため、ここを通り過ぎる多くの人たちに見てい
ただいたことは幸いであった。

期 間 平成19年3月2日(金)

～3月21日(水)

会 場 公民館本館展示室

参 加 者 延べ60人

資料提供者 西村信友氏(元中学校教諭)

平和講演会「今年もまた東京大空襲の体験談を聴こ
う」

今回で8回目の平和講演「今年も東京大空襲の体
験談を聴こう」である。東京大空襲から62年経つ。
当時深川で大空襲を体験した西村信友氏から空襲体
験を語っていただき、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、を
体験し平和の尊さ、命の大切さを参加者ともども学
んでいく。そして、このような空襲体験を語り継ぐ
機会を大切にしていきたい。

日 時 平成19年3月4日

日曜日午後2時～4時

会 場 公民館本館

参加者 10人
講師 西村信友氏 (元中学校教諭)

名曲コンサート

今年はクリスマスが近いことからクリスマスソングを多く取り入れた。身近に鑑賞できるこのコンサートには毎年楽しみにしている方も多く好評である。

日時 12月14日 木曜日
午前10時30分～正午

会場 さくら会館 ホール

参加者 131人

出演者 メゾソプラノ 橘今日子氏、
テノール 小林大作氏、ピアノ 小田切洋子氏

曲目 あら野のはて、もみの木、もろびとこぞりて、サンタが町にやってくる、お菓子と娘、初恋、花の街、四季の歌 ほか

第26回松林だれでもなんでも展

期間 10月21日(土) 午前10時～午後5時
10月22日(日) 午前10時～午後4時

会場 松林分館 全館、庭

参加者 延べ 723人

・展示の部

篆刻・切り絵・水彩画・陶芸・ステンドグラス・竹細工・造花・押し絵・手芸・編み物・折り紙・絵・私製本・アクリルたわし・山車・かご・ぽっくり・生け花・写真・金属工芸・書・苗・種プレゼント・篆刻体験コーナー・造花

・演示の部

マジック・映画上映・大正琴・剣詩舞・コーラス・童謡・ひよっこ踊り

・模擬店の部

コーヒー・紅茶・マドレーヌ・焼きそば・とん汁・お赤飯・おしるこ・ポップコーン

松林ひだまりハイキング

ハイキングをしながら里山の歴史や植物・樹木の生態を学習した。

日時 11月22日(水) 午前9時15分～
午後3時頃

参加者 5人

講師 門内政広氏(財団法人 トトロのふるさと財団所属)

行き先 狭山丘陵

コース JR八高線箱根ヶ崎駅集合→狭山丘陵を歩く→みかん狩り→箱根ヶ崎駅解散

人形劇公演「ひよことにわとり」

幼児期に人形劇などから受ける影響はとても大きい。テレビやDVDが発達し、手軽に自宅で好きな時間で見ることが出来るようになった。しかし、生で人形劇を見る機会はそれほど多くない。身近な地域でプロの人形劇を楽しみ、皆で鑑賞する事はモラルやマナーを学ぶ好い経験になる。

日時 平成19年2月21日(水)
午後3時～午後4時

会場 松林分館

参加者 102人

公演委託 人形劇団ひとみ座

第 25 回白梅まつり

白梅分館利用サークルの活動成果の発表と熊川地域市民の交流の機会という位置づけで開催した。テーマは「つどい はばたけ 白梅分館」。これにより市民活動の様々な情報の発信と共有、人と人との出会、地域社会参加への契機となる場として実施した。

会 場 白梅分館

参加者 延べ 1,287 人

6 月 3 日(土)

展示のひろば 午前 10 時～午後 5 時

書道・陶芸・生け花・パッチワーク・
水墨画・子ども創作絵画・トールペ
イント・絵手紙・盆栽・俳句・分館
事業関係の展示等。

模擬店・バザーコーナー 午前 10 時～(売り切れ次第終了)

手作りコーヒークップやいろいろな
陶器、トールペイント作品、花と盆
栽の各種、雑貨類各種手作り作品、
クッキー・飲み物類・ホットケーキ・
焼きそば・お好み焼き等。

やってみよう・ふれてみよう 午前 10 時～午後 5 時

白梅小さな音楽会

地域生活に潤いがもたらされている現在、優れた文化(芸術)を熊川地域の身近な場で味わえる生の音楽鑑賞会を開催した。

日 時 平成 19 年 3 月 20 日(火)

午前 11 時開演～12 時終演

会 場 白梅分館

参加者 71 人

牛乳パックで簡単な工作、カラフル
なプラ板を作ってみよう

ゲートボールに挑戦しよう

お 茶 席 午前 11 時～(お菓子無くなり次第終了)

和室にて白梅まつり来場者へお点前
による接待

6 月 4 日(日)

展示のひろば 午前 10 時～午後 4 時

展示内容 3 日と同じ

模擬店・バザー 午前 10 時～(売り切れ次第終了) 内容 3 日と同じ

やってみよう・ふれてみよう 午前 10 時～
午後 4 時

簡単工作で楽しく遊ぼう、お囃子の
リズムを楽しもう [前庭ひろば]
年齢を超えてゲートボールゲームを
楽しもう [裏庭ひろば]

演示のひろば 午後 1 時～午後 4 時

民謡・コーラス・オカリナ・マジッ
ク・朗読・お囃子・フラダンス・太
極拳等来場者と一緒に楽しむ。

内 容	備 考
20 世紀最後のアコース ティック楽器「スティ ールパン」と歌で織り成す 名曲を奏でる オブラディオブラダ・踊 り明かそう・あんたがた どこさ他	スティールパン 木村時子氏 ソプラノ 横田郁子氏 ピアノ 山下やよい 氏

人生うたい語りのつどい

1年間の公民館高齢者事業・活動のフィナーレとして、その成果を発表すると共に、異世代交流の場となるよう開催した。

開催日 12月2日（土）午後1時30分開演

会 場 市民会館小ホール

入場者 184人

一部 音楽のひろば

○ 音楽に親しむ

出演 童謡のひろば（本館） シニアコーラ

ス（白梅） ウクレレ演奏（本館）

ななつの子（松林） みんなで歌おう

（参加者全員）

二部 指先を使ってみよう！

○ 参加者全員で簡単な折り紙をを行った。

指導 神尾 寿子氏、小野 豊氏

(3) 実行委員会

ア 成人（一般）

第25回公民館のつどい実行委員会

第25回公民館のつどいの実施にむけて、実行委員を募り、公民館のつどいの趣旨を確認し合いながら、市民が主体となり企画、運営、準備、実施にあたっていった。

期 間 8月23日（水）～12月6日（水）
午後7時30分～9時30分 全5回

会 場 公民館本館

参加者 延べ103人

テーマ 住みやすい 地域をつくろう つどいから

月 日	内 容
8月23日	公民館のつどい趣旨確認、正副実行委員長の選出、実施日の確認、改めてつどいについて考えあう、分科会実施の確認
9月21日	テーマの決定、つどいの構成・内容等について、ポスター・チラシについて
10月11日	各分科会のテーマ・内容と進捗状況報告、全体会・交流会について、ポスター・チラシの決定、手話通訳
11月8日	交流会について、全体会セレモニー部分について、各分科会の確認、PR関係、部屋割り、案内状、備品等の確認
12月6日	各分科会、全体会、交流会、つどい全体の報告と課題、次回実施日について、記録集について

第15回ふっさ男女共同参画フォーラム実行委員会

身近な生活の中から疑問を出し合い、課題を共有しフォーラムに向けての企画をすすめた。実行委員

には幼い子供を育てる方や子育てに関わる方が集まり、子育てを通じた様々な意見が出されフォーラムを作っていた。また、実行委員会やフォーラムのあり方についても意見や提案が出され、今後検討をしていく必要がある。

期 間 6月8日（木）～11月13日（月）

午前10時～正午 全10回

会 場 白梅分館和室、福祉センター保育室、扶桑会館和室ほか

参加者 延べ64人

月 日	内 容
6月8日	自己紹介、フォーラムについての説明、タイトルについて、内容について
6月29日	実行委員として関わることの確認、ボンディングについて、地域との関わり、講師について
7月13日	役割分担について、託児について、夫との関わり、ボンディング、男性の育児参加について
8月8日	テーマについて、講師に話してもらった内容の整理、タイムスケジュール、ボンディングについて、ポスター・チラシについて
8月22日	講師について、タイムスケジュール、内容、テーマの検討
8月30日	講師と打合せ
9月21日	当日配布物の検討、チラシ・ポスターの送付先の検討、モニター室の検討、ビデオ貸し出しの検討
10月23日	当日の確認
10月28日	男女共同参画フォーラム当日
10月30日	フォーラムの振り返り、実行委員をしてどうだったか
11月13日	来年度に向けての反省

第8回本館まつり実行委員会

第8回本館まつりを実施するために、公民館本館を利用している人たちが中心となり実行委員会を開いた。日頃の公民館活動や発表をとおしてサークル間の交流を図り親睦を深め、自分たちが作り上げて

いく本館まつりを実施するために準備、実施にあたった。なお、全体の実行委員会の他に、各部門ごとに会議を開き準備にあたっていった。

期 間 5月9日(火)～7月25日(火) 全4回

会 場 公民館本館

参加者 延べ113人

テーマ 声かけて 笑顔が出会う 本館まつり

月 日	内 容
5月9日	内容の確認、正副実行委員長の選出、キャッチフレーズ、各部門に分かれての話し合い、今後の日程
6月7日	まつり全体の進行について、各部門必要経費について、各部門の進捗状況 使用部屋の確認、案内状の送付について
6月29日	各部門の進捗状況について、集合時間・集合場所について、サークル案内コーナーについて
7月25日	反省会(全体及び各部門、次回実施日について)

第26回だれでもなんでも展実行委員会

利用者の発表会とは違い①地域でこつこつと行なわれている文化的な営みを掘り起こし、繋げていくこと②その役割を松林分館の利用者と地域の人々が担っていくこと③サークル・グループの活動や松林分館の活動を地域に広げていくこと、こうした趣旨を理解し地域の「小さな文化祭」として実行委員会を開き、実行した。

期 間 6月10日(土)～11月11日(土)

午前9時30分～午前11時30分 全6回

(展示部門会・反省会を含む)

会 場 松林分館

参加者 延べ139人

月 日	内 容
6月10日	第1回 ・正、副委員長の選出及び決定 ・趣旨説明 ・実施日は10月21日(土)、10月22日(日)に決定 ・3部門長の選出及び決定(展示部門は後日)
6月24日	臨時 展示部門会 ・展示部門参加者 部門長決め ・部屋長決めと部門長決め
7月1日	第2回 ・実行委員会の日程決定 ・テーマの検討、ポスター図案、プログラム、立看板の検討 ・現時点での参加意志確認(演示、展示、模擬店) ・個人出展、参加者の受け入れについて ・交流会基金での購入について ・各部門会
9月3日	第3回 ・全体会、各部門別委員会 ・10月20(金)展示、各部屋の準備 演示会場の設営及び搬入 ・個人参加者の受け入れ
10月14日	第4回 最終確認 ・受付当番表確認 プログラム確認 ・設営手伝いについて
11月11日	第5回 ・反省会

第25回白梅まつり実行委員会

白梅まつり開催への企画・準備のために実施し、熊川地域の人々の交流起点となるよう実施。そのため各サークルから選出された実行委員で委員会を持ち、サークルを越えた人間関係を深め、地域市民間のネットワークづくりの場としている。

期 間 3月2日～6月9日 全3回

会 場 白梅分館

参加者 延べ113人

月 日	内 容
3月2日	開催日、今回まつりテーマ、参加の確認及び3部門打合せ等
3月23日	全体の準備計画、企画集約、広報関係の手配・段取り
5月11日	催し各部門の煮詰め、広報 PR 配布物 綴じ仕分け、必要品等
6月9日	反省会：今回の成果と課題、次回の方向と中心担当決定

イ 高齢者

寿市民ひろば実行委員会

（人生うたい語りのつどい企画・準備含む）

公民館3館で実施の高齢者事業・活動の交流、企画、催し開催への準備の場として例年実施し、本年は次の通り進めた。

期 間 9月12日（火）～11月8日（水）

全4回

会 場 公民館本館

参加者 延べ 3人

(4) 研修会・交流会・連絡会等

ア 成人（一般）

本館利用者連絡会

公民館本館を利用しているサークルを対象に、サークル相互のコミュニケーションを図り、公民館をより良い学習活動の場にするために、隔月ごと年 6 回、利用者と公民館の役割や、サークル活動の運営などについて話し合いを行った。また、事前に運営委員のメンバーによる運営委員会を開催し、本館利用者連絡会への準備・打ち合わせを行った。

期 間 4 月 8 日（土）～平成 19 年 2 月 10 日

（土）全 6 回

会 場 公民館本館

参加者 延べ 178 人

月 日	時 間	内 容	参 加 者
4 月 8 日	午前 10 時 ～正 午	研修会の報告、新年度利用者連絡会事業予定、ロッカーの再申込み、公民館運営審議会委員及び本館利用者連絡会運営委員の新体制、公運審からの報告、その他	43 人
6 月 10 日	午後 7 時 30 分 ～9 時 30 分	ロッカーの使用について、会費の徴集方法について、第 8 回本館まつり、公運審からの報告、その他	19 人
8 月 12 日	午前 10 時 ～正 午	ロッカーの使用について、第 8 回本館まつりの報告、第 25 回公民館のつどい、公運審からの報告、その他	31 人
10 月 14 日	午後 7 時 30 分 ～9 時 30 分	ロッカーの使用について（報告）、第 25 回公民館のつどい経過報告、利用者研修会、公運審からの報告、その他、	21 人

12 月 9 日	午前 10 時 ～正 午	第 25 回公民館のつどい報告、本館利用者連絡会の研修について、公運審からの報告、その他	28 人
平成 19 年 2 月 10 日	午後 7 時 30 分 ～9 時 30 分	本館利用者連絡会の研修、ロッカー抽選会について、公運審からの報告、その他	29 人

本館利用者研修会「公民館の現状と課題～公民館とサークルのかかわり方」

この研修会は、本館利用者連絡会が主体となって実施するもので、研修会の司会・進行等の役割については、本館利用者連絡会の運営委員が担当して行う。研修会は、本館利用者連絡会が主体となって実施するもので、研修会の司会・進行等の役割については、本館利用者連絡会の運営委員が担当して行う。サークル活動を通しての公民館活動の現状を知り、その中から問題点や課題、公民館の在り方を探っていく。

日 時 平成 19 年 3 月 2 日（土）

午前 10 時～正午

会 場 公民館本館

参加者 29 人

講 師 朝岡幸彦氏（東京農工大助教授）

松林分館利用者交流会

松林分館利用者相互の意見交換、館と利用者、利用者同士の交流が豊かになるように実施した。

期 間 4 月 22 日（土）～平成 19 年 2 月 10 日（土）

全 6 回

会 場 松林分館

月 日	内 容
4月22日	あなたのサークル・何をやっているの？松林分館長からの報告（事業計画）、公運審からの報告、会長・副会長今度はだれが？、その他
6月10日	あなたのサークル・何をやっているの？、公運審からの報告、交流会研修旅行、お金の使い道を考えましょう、だれでもなんでも展実行委員会について、その他
8月26日	あなたのサークル・何をやっているの？、公運審からの報告、交流会研修旅行の報告、なんでも展参加のおしらせ、8月23日つどい実行委員会がありました、もっと使いやすい会館にするには？、その他
10月7日	あなたのサークル・何をやっているの？、公運審からの報告、公民館のつどい報告、みんなで何を学習するの？、困ってませんか？ごみ分別、その他
12月9日	あなたのサークル・何をやっているの？、公運審からの報告、公民館のつどい報告、ごみ問題を考えよう パートⅡ、学習会・何をやる？、その他
2月10日	あなたのサークル・何をやっているの？、公運審からの報告、公運審委員の選出、交流会の役員選出、学習会の内容は？、なんでも展利益どう使う？、その他

参加者 延べ127人

松林分館利用者交流会学習会

松林分館利用者を対象に、学習と交流の機会として実施した。今年度は、松林会館のリニューアルについて、よりよい会館にするために、社会教育と生涯学習を中心に学習した。

日 時 平成19年3月17日（土）

午前9時30分～11時30分

会 場 松林分館

テーマ よりよい会館にするために～社会教育と生涯学習から考える～

講 師 伊東静一（松林分館副館長）

参加者 16人

松林分館利用者交流会学習会

松林分館利用者交流会の中で、歴史の学習と松林分館の利用者サークルの交流を目標とし、武田信玄ゆかりの地を訪ねることになった。交流会を会館外で行なう事で普段出席できないサークルやメンバーに声をかけ、交流会に参加する気持ちを高め、交流会を理解してもらう機会とした。

日 時 7月2日（日）

場 所 山梨県甲州市塩山 恵林寺

参加者 31人

松林分館陶芸作業所利用者交流会

松林分館陶芸サークルの活動を豊かにするために、サークルの交流の場、学習の場となるよう実施した。

期 間 平成19年1月27日（土）

会 場 松林分館

参加者 4人

内 容 情報交換・来年度の学習についてなど

松林分館陶芸作業所利用者交流会学習会

松林陶芸サークルの活動を豊かにするために、個人の陶芸の学習と他サークルとの交流を目的として実施した。今年度は、（株）新柳北信の窯製造過程を見学、川越の博物館・美術館めぐり等を行った。

日 時 5月27日（土）

参加者 14人

松林分館保育室利用者交流会

松林分館保育室利用者（自主サークル）の活動を豊かにし、サークル同士の交流の場となるよう実施した。学習会の開催も考慮にしている。

期 間 5月17日（水）～平成19年1月31日（水）午前9時30分～午前11時30分 全7回

会 場 松林分館 和室 保育室

参加者 延べ139人

月 日	内 容
5月17日	第1回 ・自己紹介 活動報告（交流も含める） ・利用方法の確認 ・学習会について ・棚整理、清掃
6月7日	第2回 ・活動報告（交流も含める） ・子供にとっての交流会を考える ・学習会の開催希望 学習会時の保育について
7月5日	第3回 ・活動報告（交流も含める） ・学習会テーマと内容 ・学習会の規模を考え直す ・次回お楽しみ会について
9月6日	第4回 ・活動報告（交流も含める） ・学習と保育を別室で分けて行なう ・お楽しみ会
10月4日	第5回 ・活動報告（交流も含める） ・学習した内容を深める ・学習について（保育を分ける）
11月15日	第6回 ・活動報告（交流も含める） ・学習の内容を2つのグループに分けて話し合う
1月31日	第7回活動報告（交流も含める） ・学習してきたことのまとめ ・保育室での様子のまとめ

白梅分館利用者交流会

当該交流会は公民館分館活動の集約の場で、定期利用サークルの交流、活動の地域的広がりに向けている。そのための態勢づくりにより、市民の自己形成の場「教育機関」と「まちづくり」の場として進展するよう、利用者と職員の協働による公民館の創造にむけた。

期 間 6月27日（火）～平成19年1月27日（火） 全6回

会 場 白梅分館

参加者 延べ124人（大掃除含まず、含むと166人）

月 日	内 容
6月27日	運営審議会報告、利用者交流会のきまり（案）、公民館のつどい
8月22日	〃 〃
10月24日	〃 〃、公民館のつどい分科会の検討・参加等
12月12日	〃 〃、19年度年間計画、白梅まつりについて
1月27日	〃 〃、19年度年間計画、白梅まつりについて

白梅分館利用者研修会

公民館は市民生活の創造、まちづくりの拠点となる機能が求められている。そして全ての興味・関心や課題意識は私的に生起し、社会的存在である自己を形成しつつ課題の解決や創造が目指される。

今回は、食育講座を通してサークル活動・地域・公民館との連携から見えてきた地域社会が抱えている課題と方向性を白梅利用者と考える研修会として実施した。

日 時 平成19年3月3日（土）

会 場 白梅分館

参加者 35名

月 日	内 容	備 考
3月3日	「講座・サークル・そして地域」 食育講座から見えてきたサークル活動と地域・公民館の連携を考える	白梅分館 職員 野村卓

会 場 白梅分館

参加者 6人

陶芸作業室におけるサークル相互間協力や作品製作及び展示会等の工夫への契機となる。

白梅利用者交流会(世話人)会

通常交流会の役員会という性格づけで、交流会の自治性を高める目標で活動開始し、4年目となった。役員体制の充実、交流会の充実、公民館のつどいかわり、公運審委員選出など、交流会の企画・底支えの役割を果たした。

期 間 7月17日(土)～12月2日(土)

全4回

会 場 白梅分館

参加者 延べ32人

月 日	内 容
7月17日	交流会及び世話人会の選出・構成人数・任期等の取り決め
8月12日	交流会のきまり(案)、公民館のつどい企画・分科会の立上げの検討
10月14日	公民館のつどい及び寿市民ひろばの実施
12月2日	公運審委員の推薦、第26回白梅まつり検討、年間スケジュール

白梅分館陶芸作業室利用者連絡会

白梅分館で活動する4サークルが、陶芸作業室とその窯の扱いや作業室浸透槽清掃について調整し有効利用を図り、陶芸を通して市民造形活動の発展充実への交流機会として実施した。

日 時 8月30日